

**長崎市 ACP の取組み状況についてのアンケート
調査結果報告書**

令和 6 年 1 月

長崎市

目次

P

I 調査概要

(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査方法	1

II 調査結果

調査票は、【事業所用】と【病院用】の2種類です。

は回答対象が全種別事業所、は各項目中の質問内容により回答対象が一部の種別事業所のみになります。

病院用アンケート項目は、問〇(病)・事業所用アンケートの項目は、問〇(事)と記載しています。

また、目次に記載している質問内容の「1つ選択」や「複数選択」は省略(結果には記載)しています。

事業所の種別	2
--------	---

【問1-問3 病院用アンケート・事業所用アンケート共通項目】

問1 ACPについて貴病院、貴所属で取り組んでいることはありますか。	3
------------------------------------	---

問1で①②に〇をつけた方におききします。

問2 活用・配布しているツールは何ですか。	6
-----------------------	---

問3 ツールを活用・配布する対象について教えてください。	8
------------------------------	---

【問4 病院用アンケート項目】

問4(病) ツールを活用・配布する方法について教えてください。	10
---------------------------------	----

【事業所用アンケート(問4)・病院用アンケート(問6)項目】

問4(事) ツールを活用・配布してよかった点は何ですか。	10
------------------------------	----

問6(病)	
-------	--

【病院用アンケート項目】

問5(病) ツールを活用・配布するタイミングについて教えてください。	13
------------------------------------	----

【事業所用アンケート項目】

問5(事) ACPについて切り出すタイミングについて教えてください。	14
------------------------------------	----

問6-(1)(事) ACPについて得た情報を、在宅医療に関わる多職種と共有していますか。	15
--	----

問6-(2)(事) 問6-(1)で①と回答された場合、どの職種と共有していますか。	17
---	----

【病院用アンケート項目】

問7-(1)(病) 患者が退院(転院・入所含む)する際に、ACPについて得た情報を、在宅・転院先・施設等関わる多職種と共有していますか。	20
--	----

問7-(2)(病) 問7-(1)で①と回答された場合、どのような方法で共有していますか。	20
--	----

【事業所用アンケート項目】

問7-(1)(事) 利用者が生活の場が変わる際(入院入所・退院退所等)に、ACPについて得た情報を、新たな生活の場に関わる多職種と共有していますか。	21
--	----

問7-(2)(事) 問7-(1)で①と回答された場合、どのような方法で共有していますか。	22
--	----

【問8 病院用アンケート・事業所用アンケート共通項目】

問1で③④⑤に〇をつけた方におききします。

問8 本人・家族等と本人の希望について話し合いやツールの配布をしていない理由は何ですか。	23
--	----

皆さまにおききします

問9 今後の長崎市の医療・介護専門職のACPにおける知識・技術向上のために、当室によるヒアリング(電話・訪問・書面等)を行う場合にご協力いただけますか?	28
--	----

問10 ACPに取り組むうえで困難と感ずることは何ですか。	30
-------------------------------	----

問11 長崎市が作成している「元気なうちから手帳」について改善点やご意見があれば自由にお書き下さい。	34
--	----

III 考察

35

ACP の取組み状況についてのアンケート調査

I 調査概要

- (1) 調査目的：①元気なうちから手帳の活用状況を把握し、手帳の効果的な活用促進の方法を検討する。
②元気なうちから手帳を含めた ACP の取組状況を把握し、多職種協働での ACP を進めるための施策を検討する。
- (2) 調査対象：市内の医療・介護事業所 2,068 か所
- (3) 調査期間：令和5年2月24日～3月24日
- (4) 調査方法：調査票を郵送し、FAX にて回答

II 調査結果

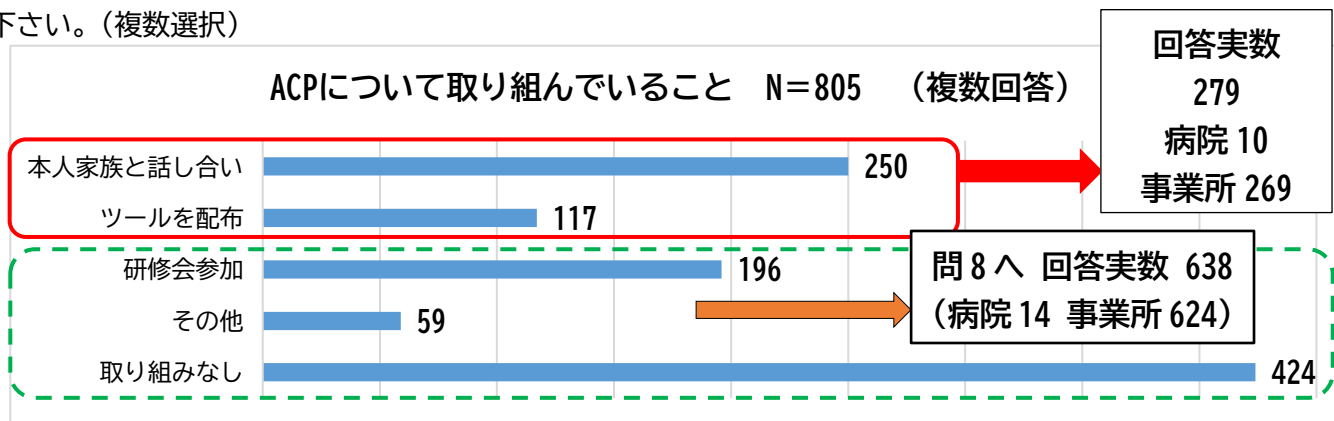
1 事業所の種別

事業所種別	① 調査事業所数	② 回答事業所数	③ 依頼総数の回答率 (%)	④ 全調査事業所回答 総数の回答率 (%)
1 病院	43	18	41.9	2.2
2 介護医療院	2	1	50.0	0.1
3 診療所	410	117	28.5	14.5
4 歯科診療所	268	53	19.8	6.6
5 薬局	268	79	29.5	9.8
6 訪問看護ステーション（※訪問看護）	61	32	52.5	4.0
7 訪問リハビリテーション（※訪問リハ）	28	13	46.4	1.6
8 地域包括支援センター（※包括）	20	20	100.0	2.5
9 居宅介護支援	152	93	61.2	11.6
10 訪問介護	130	52	40.0	6.5
11 夜間対応型訪問介護	2	0	0.0	0.0
12 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（※定期巡回）	10	6	60.0	0.7
13 小規模多機能型居宅介護（※小規模多機能）	34	20	58.8	2.5
14 看護小規模多機能型居宅介護（※看護小規模多機能）	7	2	28.6	0.2
15 訪問入浴介護	3	2	66.7	0.2
16 通所介護	92	49	53.3	6.1
17 地域密着型通所介護（※地域密着型通所）	91	40	44.0	5.0
18 通所リハビリテーション（※通所リハ）	52	29	55.8	3.6
19 認知症対応型通所介護（※認知症対応型通所）	18	6	33.3	0.7
20 短期入所生活介護	71	38	53.5	4.7
21 短期入所療養介護	23	6	26.1	0.7
22 福祉用具貸与・特定福祉用具販売（※福祉用具）	38	13	34.2	1.6
23 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）（※特養）	32	19	59.4	2.4
24 介護老人保健施設（老人保健施設）（※老健）	16	7	43.8	0.9
25 介護療養型医療施設（療養病床）	3	1	33.3	0.1
26 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）（※有料老人ホーム）	58	30	51.7	3.7
27 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）（※認知症）グループホーム	70	28	40.0	3.5
28 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（特別養護老人ホーム）（※地域密着型特養）	17	9	52.9	1.1
29 軽費老人ホーム・ケアハウス（※軽費老人ホーム）	14	8	57.1	1.0
30 原爆一般養護ホーム	1	0	0.0	0.0
31 原爆特別養護ホーム	1	1	100.0	0.1
32 養護老人ホーム	7	1	14.3	0.1
33 生活支援ハウス	3	0	0.0	0.0
34 サービス付き高齢者向け住宅（※サ高住）	23	12	52.2	1.5
①②は合計数、③④は%（パーセント）	2,068	805	38.9	100.0

（※通称とする）

【問1-問3 病院用アンケート・事業所用アンケート共通項目】

問1 ACPについて貴病院、貴事業所で取り組んでいることはありますか。※あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数選択)



		問1 ACPについて事業所で取り組んでいること										
		回答総事業所数	本人家族と話し合い	ツールを配布	研修会参加	その他	取り組みなし	1-①	1-②	1-③	1-④	1-⑤
								本人家族と話し合い	ツールを配布	研修会参加	その他	取り組みなし
1	病院	18	9	4	7	4	5	50%	22%	39%	22%	28%
2	介護医療院	1	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	100%
3	診療所	117	35	16	26	9	72	30%	14%	22%	8%	62%
4	歯科診療所	53	1	1	1	2	51	2%	2%	2%	4%	96%
5	薬局	79	7	3	35	0	44	9%	4%	44%	0%	56%
6	訪問看護	32	20	7	15	2	10	63%	22%	47%	6%	31%
7	訪問リハ	13	5	0	2	0	7	38%	0%	15%	0%	54%
8	包括	20	9	18	16	5	1	45%	90%	80%	25%	5%
9	居宅介護支援	93	52	36	53	8	17	56%	39%	57%	9%	18%
10	訪問介護	52	13	3	7	2	32	25%	6%	13%	4%	62%
12	定期巡回	6	1	0	1	1	4	17%	0%	17%	17%	67%
13	小規模多機能	20	9	5	4	1	8	45%	25%	20%	5%	40%
14	看護小規模多機能	2	2	2	0	0	0	100%	100%	0%	0%	0%
15	訪問入浴介護	2	0	0	0	1	1	0%	0%	0%	50%	50%
16	通所介護	49	6	1	4	4	36	12%	2%	8%	8%	73%
17	地域密着型通所	40	11	0	2	0	27	28%	0%	5%	0%	68%
18	通所リハ	29	7	0	2	2	20	24%	0%	7%	7%	69%
19	認知症対応型通所	6	0	0	1	1	5	0%	0%	17%	17%	83%
20	短期入所生活介護	38	10	0	3	1	25	26%	0%	8%	3%	66%
21	短期入所療養介護	6	2	0	0	0	4	33%	0%	0%	0%	67%
22	福祉用具	13	0	1	0	2	11	0%	8%	0%	15%	85%
23	特養	19	8	4	1	4	6	42%	21%	5%	21%	32%
24	老健	7	4	0	0	2	2	57%	0%	0%	29%	29%
25	介護療養型医療施設	1	0	0	0	1	0	0%	0%	0%	100%	0%
26	有料老人ホーム	30	15	8	9	3	11	50%	27%	30%	10%	37%
27	認知症)グループホーム	28	13	6	4	3	8	46%	21%	14%	11%	29%
28	地域密着型特養	9	5	2	0	0	4	56%	22%	0%	0%	44%
29	軽費老人ホーム	8	1	0	2	0	5	13%	0%	25%	0%	63%
31	原爆特別養護ホーム	1	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	100%
32	養護老人ホーム	1	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	100%
34	サ高住	12	5	0	1	1	5	42%	0%	8%	8%	42%
(病院+事業所)		805	250	117	196	59	424	31%	15%	24%	7%	53%
事業所のみ		787	241	113	189	55	419	31%	14%	24%	7%	53%

※割合(%)は、「回答総事業所数」を母数とする。

【事業所種別集計】

	本人との話し合い	ツールの配布	研修会への参加	取組みなし
全体 (N=805)	31%	15%	24%	53%
病院 (N=18)	50%	22%	39%	28%
診療所 (N=117)	30%	14%	22%	62%
歯科診療所 (N=53)	2%	2%	2%	96%
薬局 (N=79)	9%	4%	44%	56%
訪問看護 (N=32)	63%	22%	47%	31%
居宅介護支援事業所 (N=93)	56%	39%	57%	18%
サービス事業所 (N=276)	24%	4%	9%	65%
通所系サービス (N=168) (No16~21)	21%	1%	7%	70%
訪問系サービス (N=86) (No7、10、12、15、22)	22%	5%	12%	64%
複合型サービス (N=22) (No13、14)	50%	32%	18%	36%
入所系施設 (N=116)	44%	17%	15%	37%
入所系施設軽度 (N=9) (No29、32)	11%	0%	22%	67%
入所系施設重度 (N=107) (No23~28、31、34)	47%	19%	14%	35%

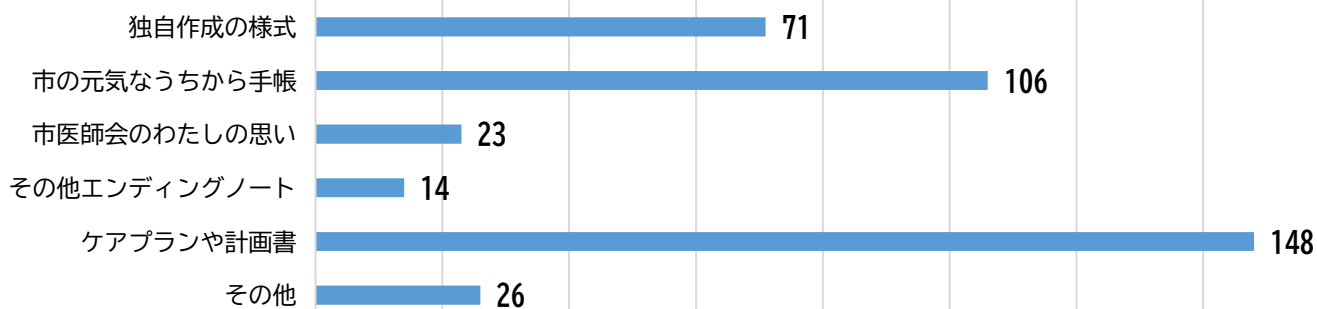
【その他の詳細】

歯科診療所	・ 包括の会議への出席／・ ACP 自体知らない
・ 介護療養型医療施設 ・ 特養 ・ 老健	・ 患者、家族の希望をカルテに記載／・ 看取り委員会で本人や家族の希望を共有 ・ 状態変化時は主治医と家族が話し合う機会を作る ・ 入居時点での意思確認書の作成（ほとんど家族への説明） ・ 延命処置に関する同意書／・ 終末期希望となった場合のみ本人へ意向確認
居宅介護支援	・ 担当者会議や主治医等との話し合い／・ 話しの流れで本人・家族に話をする ・ 触りを話して興味があるかどうかで進め方を変える／・ 訪問の際に少しずつ話している ・ 重要事項説明書に記載し ACP について説明、希望の確認ができたときは支援経過に記入 ・ ACP について取り組みはわかっているがなかなか導入できない（自信がない） ・ 「元気なうちから手帳」を包括でもらえることを伝えている ・ 研修会への参加を今後行っていきたい
サ高住	・ 同法人と一緒に取り組んでいる
小規模多機能	・ 利用開始時、入退院時、サービス担当者会議時などにて確認している
診療所	・ 患者や家族からの相談時／・ 年齢や身体、疾患の状態判断している ・ ACP に関する寸劇・動画づくり・講演／・ 指導書、情報提供書を発行している ・ 法人内の他の介護支援事業所と情報共有している／・ 在宅診療・往診・緩和ケア時
短期入所生活介護	・ ACP を意識しているところではないが、意向確認シートで面談時に聞き取りしている
包括	・ 老人会、自治会、サロン等への普及啓発／・ 居宅連絡会にてケアマネ向けに勉強会を実施 ・ 住民向けに「元気なうちから手帳」の活用についてワークショップ実施／・ 広報誌への掲載
通所介護	・ 法人で作成し、外来患者や介護支援事業所で使用している

	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報ながさき」を紹介し「元気なうちから手帳」の実物をいつでも回覧できるようにした ・関心のある方へは個別に相談受け、ケアマネや包括への相談を勧めた ・ACPの情報が事業所に届いていない
通所リハ	<ul style="list-style-type: none"> ・ACPマニュアル作成／・「元気なうちから手帳」を事業所に設置（手帳の説明はなし）
認知症） グループホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入居の際、看取りについて家族と話す ・アンケートを取り、少人数の対話方式で話し合う計画を立てている
認知症対応型通所	<ul style="list-style-type: none"> ・日課のなかでACPを取り上げることもある
福祉用具	<ul style="list-style-type: none"> ・遺品整理事業を行っており、問い合わせ時にエンディングノートの案内を行っている ・通常の担当者会議に参加はしているが、ターミナルケアの場面では参加できていないこともある
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護 ・定期巡回 ・訪問入浴介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議、ケアマネからの情報提供等で、本人・家族の希望を把握 ・事前訪問で情報収集
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関と共有／・ターミナル時期など家族の思いを得てプランに記録し職員全員で周知（医療的な面から思いを聞く）
有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に必ず書面で終末期についての意向確認をしている ・看取りについて事前聞き取り実施 ・高齢者施設 ACP において家族間の橋渡しの役割を持てるのではという意味で、入居の際、家族へ「私の心づもり」を話していきたい
病院	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院等の IC／・必要に応じてカンファレンス／・院内研修 ・記録を残せるように電子カルテのシステムを整えている ・ACP 推進は病院の中期計画にあがっており病院全体で取り組んでいる ・がん診療推進委員会、ACP ワーキング活動、看護部スペシャリスト会などで活動している ・院内全職員への e-ラーニング研修は行ったが、活動内容の全職員への周知はできてはいない ・現在は診療科を限定し「がん領域」の診療科で活動中である

問2 (問1で「①本人・家族等と本人の希望について話し合っている」「②ツールを配布している」と回答した方) 活用・配布しているツールは何ですか。※あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数選択)

問2 (問1で①・②回答者) 活用・配布しているツール (N=279)



	回答総事業所数	問2 ★問1で①・②回答者→ 活用・配布しているツール												
		①・②回答者総数	独自作成の様式	市の元気なうちから手帳	市医師会のわたしの思い	その他エンディングノート	ケアプランや計画書	その他	2-①独自作成の様式	2-②市の元気なうちから手帳	2-③市医師会のわたしの思い	2-④その他エンディングノート	2-⑤ケアプランや計画書	2-⑥その他
1 病院	18	10	7	5	0	0	3	2	70%	50%	0%	0%	30%	20%
2 介護医療院	1	0												
3 診療所	117	36	7	12	15	4	6	6	19%	33%	42%	11%	17%	17%
4 歯科診療所	53	2	0	1	1	0	0	0	0%	50%	50%	0%	0%	0%
5 薬局	79	8	2	3	0	0	4	0	25%	38%	0%	0%	50%	0%
6 訪問看護	32	20	4	8	3	0	10	2	20%	40%	15%	0%	50%	10%
7 訪問リハ	13	5	0	1	0	0	5	0	0%	20%	0%	0%	100%	0%
8 包括	20	18	2	18	1	1	5	0	11%	100%	6%	6%	28%	0%
9 居宅介護支援	93	61	5	43	3	6	35	6	8%	70%	5%	10%	57%	10%
10 訪問介護	52	13	4	2	0	1	11	0	31%	15%	0%	8%	85%	0%
12 定期巡回	6	1	0	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	0%	100%
13 小規模多機能	20	9	4	3	0	0	5	1	44%	33%	0%	0%	56%	11%
14 看護小規模多機能	2	2	2	1	0	0	0	0	100%	50%	0%	0%	0%	0%
15 訪問入浴介護	2	0												
16 通所介護	49	7	1	1	0	0	6	0	14%	14%	0%	0%	86%	0%
17 地域密着型通所	40	11	3	0	0	0	10	0	27%	0%	0%	0%	91%	0%
18 通所リハ	29	7	1	1	0	0	5	0	14%	14%	0%	0%	71%	0%
19 認知症対応型通所	6	0												
20 短期入所生活介護	38	10	4	0	0	0	8	0	40%	0%	0%	0%	80%	0%
21 短期入所療養介護	6	2	0	0	0	0	2	0	0%	0%	0%	0%	100%	0%
22 福祉用具	13	1	0	1	0	1	1	0	0%	100%	0%	100%	100%	0%
23 特養	19	10	7	1	0	0	4	2	70%	10%	0%	0%	40%	20%
24 老健	7	4	1	0	0	0	3	0	25%	0%	0%	0%	75%	0%
25 介護療養型医療施設	1	0												
26 有料老人ホーム	30	15	8	4	0	0	6	1	53%	27%	0%	0%	40%	7%
27 認知症)グループホーム	28	16	6	1	0	1	10	4	38%	6%	0%	6%	63%	25%
28 地域密着型特養	9	5	2	0	0	0	3	1	40%	0%	0%	0%	60%	20%
29 軽費老人ホーム	8	1	1	0	0	0	1	0	100%	0%	0%	0%	100%	0%
31 原爆特別養護ホーム	1	0												
32 養護老人ホーム	1	0												
34 サ高住	12	5	0	0	0	0	5	0	0%	0%	0%	0%	100%	0%
(病院+事業所)	805	279	71	106	23	14	148	26	25%	38%	8%	5%	53%	9%
事業所のみ	787	269	64	101	23	14	145	24	24%	38%	9%	5%	54%	9%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

【事業所種別集計】

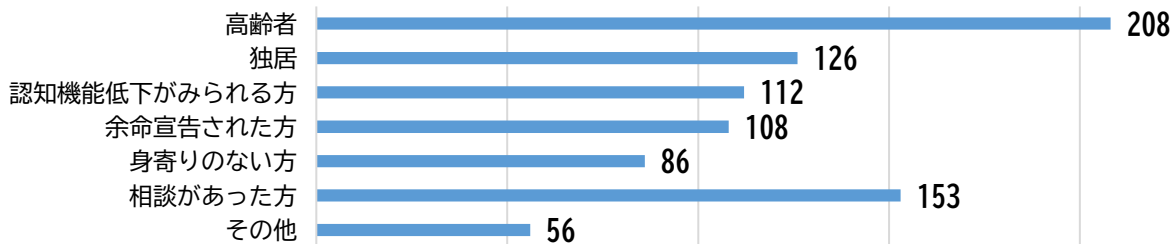
	独自作成の 様式	元気なうち から手帳	わたしの 思い	エンディン グノート	ケアプラン や計画書
全体 (N=279)	25%	38%	8%	5%	53%
病院 (N=10)	70%	50%	0%	0%	30%
診療所 (N=36)	19%	33%	42%	11%	17%
訪問看護 (N=20)	20%	40%	15%	0%	50%
居宅介護支援事業所 (N=61)	8%	70%	5%	10%	57%
サービス事業所 (N=68)	28%	15%	0%	3%	78%
通所系サービス (N=37)	24%	5%	0%	0%	84%
訪問系サービス (N=20)	20%	20%	0%	10%	85%
複合型サービス (N=11)	55%	36%	0%	0%	45%
入所系施設 (N=56)	45%	11%	0%	2%	57%

【その他の詳細】

特養	・ 人生の最終段階における事前確認書など
居宅介護支援	・ 担当者会議／・ 臨床倫理の4分割法図、トータルペイン図／・ 後見人が持参した資料 ・ 医療機関発刊資料（ホスピス等） ・ 「元気なうちから手帳」の存在を伝えているが自分自身が原本ではなくプリントアウトしたものしか持っていないため、配布していない ・ アセスメントシートに ACP 欄を設けており、確認できた際に記入している
小規模多機能	・ 担当者会議の際、書式・様式について説明し、その場で深い話ができない時は日を改めて話す場を設けている
診療所	・ 本人、家族とは話し合いは行っているが、カルテに記入しており特に書式ツールは無い ・ 特別書式を決めて渡しては行っていないが、話し合いの内容についてはカルテに記載し、地域包括支援センター等について案内している／・ 尊厳死協会「私の希望表明書」／・ 特に様式なし
地域密着型特養	・ 看取りの意向確認書
定期巡回	・ 病院（入院先）が使用している書式・様式
認知症） グループホーム	・ 事前指示書／・ ACP の手引き（広島県地域保健対策協議会） ・ 施設利用（入所）時より、看取りの介護について説明を行っており、どのような支援や最後をどこで、どのように迎えたいか（迎えさせてあげたい）等、考えて頂き思いや希望を伺っている
訪問看護	・ 元気なうちから ACP を話す機会は少なく状態悪化が予測される時又は悪化した時に話し合っている／・ 家族、本人と対話を通して今後のことを話し合う ・ 電子カルテへその日その日の本人家族の考え希望を残してスタッフで共有している（多職種も含む）
有料老人ホーム	・ 急変時や看取りについての事前確認書
病院	・ 直接、地域包括ケア病棟に入院した患者・家族に「元気なうちから手帳」を用いて ACP を行っている

問3 (問1で「①本人・家族等と本人の希望について話し合っている」「②ツールを配布している」と回答した方) ツールを活用・配布する対象について教えてください。※あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数選択)

問3 ツールを活用・配布する対象 (N=279)



	回答総事業所数	問3 ツールを活用・配布する対象について														
		①・②回答者総数	高齢者	独居	認知機能低下がみられる方	余命宣告された方	身寄りのない方	相談があった方	その他	3-①高齢者	3-②独居	3-③認知機能低下がみられる方	3-④余命宣告された方	3-⑤身寄りのない方	3-⑥相談があった方	3-⑦その他
1 病院	18	10	5	2	3	6	3	3	4	50%	20%	30%	60%	30%	30%	40%
2 介護医療院	1	0														
3 診療所	117	36	24	15	14	24	12	23	5	67%	42%	39%	67%	33%	64%	14%
4 歯科診療所	53	2	2	2	1	2	1	2	0	100%	100%	50%	100%	50%	100%	0%
5 薬局	79	8	5	3	5	1	2	7	0	63%	38%	63%	13%	25%	88%	0%
6 訪問看護	32	20	14	10	9	15	6	11	4	70%	50%	45%	75%	30%	55%	20%
7 訪問リハ	13	5	4	2	2	1	0	2	0	80%	40%	40%	20%	0%	40%	0%
8 包括	20	18	18	13	8	5	7	17	3	100%	72%	44%	28%	39%	94%	17%
9 居宅介護支援	93	61	51	42	24	30	31	40	11	84%	69%	39%	49%	51%	66%	18%
10 訪問介護	52	13	9	7	5	4	5	7	0	69%	54%	38%	31%	38%	54%	0%
12 定期巡回	6	1	0	0	0	1	0	1	0	0%	0%	0%	100%	0%	100%	0%
13 小規模多機能	20	9	8	6	7	3	3	4	2	89%	67%	78%	33%	33%	44%	22%
14 看護小規模多機能	2	2	2	1	1	0	1	1	0	100%	50%	50%	0%	50%	50%	0%
15 訪問入浴介護	2	0														
16 通所介護	49	7	6	5	5	2	2	5	0	86%	71%	71%	29%	29%	71%	0%
17 地域密着型通所	40	11	7	3	4	0	1	3	1	64%	27%	36%	0%	9%	27%	9%
18 通所リハ	29	7	4	1	1	0	1	2	2	57%	14%	14%	0%	14%	29%	29%
19 認知症対応型通所	6	0														
20 短期入所生活介護	38	10	8	3	3	4	2	6	4	80%	30%	30%	40%	20%	60%	40%
21 短期入所療養介護	6	2	1	1	1	0	0	1	1	50%	50%	50%	0%	0%	50%	50%
22 福祉用具	13	1	1	1	0	0	1	1	0	100%	100%	0%	0%	100%	100%	0%
23 特養	19	10	5	0	1	0	0	1	5	50%	0%	10%	0%	0%	10%	50%
24 老健	7	4	2	1	1	1	0	1	1	50%	25%	25%	25%	0%	25%	25%
25 介護療養型医療施設	1	0														
26 有料老人ホーム	30	15	10	4	5	4	5	8	5	67%	27%	33%	27%	33%	53%	33%
27 認知症)グループホーム	28	16	13	1	8	3	1	3	7	81%	6%	50%	19%	6%	19%	44%
28 地域密着型特養	9	5	5	0	0	1	0	1	1	100%	0%	0%	20%	0%	20%	20%
29 軽費老人ホーム	8	1	1	0	1	0	0	1	0	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%
31 原爆特別養護ホーム	1	0														
32 養護老人ホーム	1	0														
34 竹高住	12	5	3	3	3	1	2	2	0	60%	60%	60%	20%	40%	40%	0%
(病院+事業所)	805	279	208	126	112	108	86	153	56	75%	45%	40%	39%	31%	55%	20%
事業所のみ	787	269	203	124	109	102	83	150	52	75%	46%	41%	38%	31%	56%	19%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

【事業所種別集計】

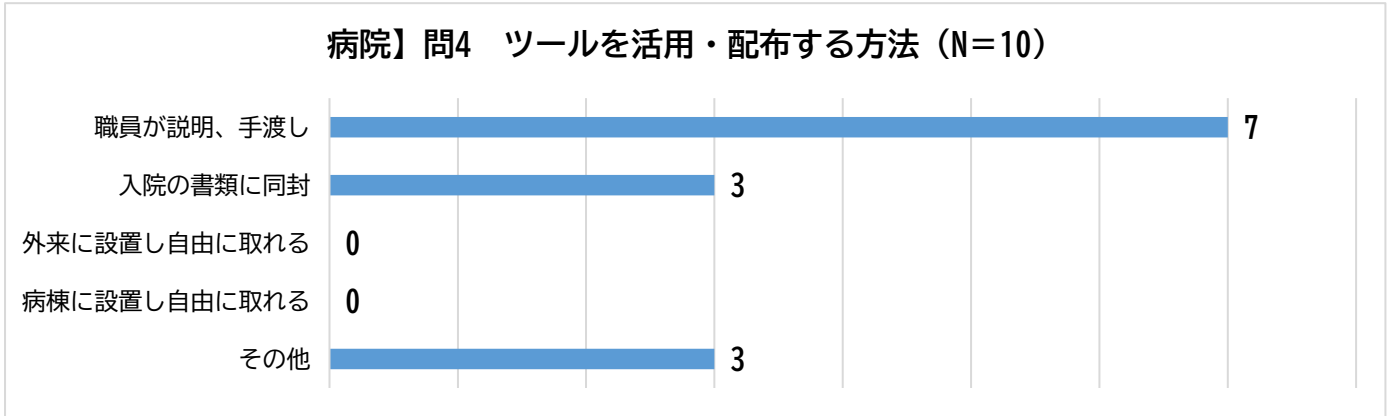
	高齢者	独居	認知機能低下	余命宣告者	身寄りなし	相談があった方
全体 (N=279)	75%	45%	40%	39%	31%	55%
病院 (N=10)	50%	20%	30%	60%	30%	30%
診療所 (N=36)	67%	42%	39%	67%	33%	64%
訪問看護 (N=20)	70%	50%	45%	75%	30%	55%
居宅介護支援事業所 (N=61)	84%	69%	39%	49%	51%	66%
サービス事業所 (N=68)	74%	44%	43%	22%	24%	49%
通所系サービス (N=37)	70%	35%	38%	16%	16%	46%
訪問系サービス (N=20)	70%	50%	35%	30%	30%	55%
複合型サービス (N=11)	91%	64%	73%	27%	36%	45%
入所系施設 (N=56)	70%	16%	34%	18%	14%	30%

【その他の詳細】

特養	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者全員に入所時と1回/年、意思確認書の提出を依頼／・施設入所時 ・施設入所者のうち要介護3以上の方／・施設入所前の本人および家族
<ul style="list-style-type: none"> ・老健／・通所リハ ・短期入所療養介護 ・地域密着型特養 ・地域密着型通所 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者全員／・入居者
居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンや主介護者／・触りを話して興味がある方／・家族、在宅スタッフ ・看取りの介護希望者および家族／・後見人／・余命の宣告はないが、ガンの手術をしていない方／・今後の終活に対しての思いが聞かれた際 ・余命1、2か月ほどだと自分や家族の死についてリアルに考えてしまうのでは、と慎重になる ・利用者と家族に配布し一緒に記入を考えてもらう
小規模多機能	<ul style="list-style-type: none"> ・利用されている方すべてと話す場を設けている／・要介護状態の利用者および家族
診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・本人家族のほかに後見人や行政との話し合いも行っている ・待ち合いに設置／・病状悪化時／・入院中の患者
短期入所生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用者 ・全身状態の悪化がみられるが、疾患によるものというより、老衰や摂食障害などによる可能性が高い方など（くり返している場合）
包括	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へ周知／・居宅のケアマネに配布／・出張相談時、サロン等
認知症）グループホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者及びその家族／・当事業所（施設）を利用されている方／・家族に説明・配布
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・受け持った方には将来的にどのように考えているのか、その時の想いを必ず確認 ・1年後に元気でおられるかどうかを事業所内でカンファレンスして、対象者を決めている ・家族から積極的な治療を望まないという話があった方 ・訪問看護、訪問診療が開始になるときに配布し説明している

有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者／・看取りの対象となった方 ・入居される方全員に「事前指定書」を記載していただいている
病院	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者／・病状の厳しい方／・主治医が必要と判断した患者 ・認知機能低下がみられる方については、家族にもツールを渡す等の対応をしている

病院問4 ツールを活用・配布する方法について教えてください。※あてはまるものすべてに○をつけてください。
(複数選択)

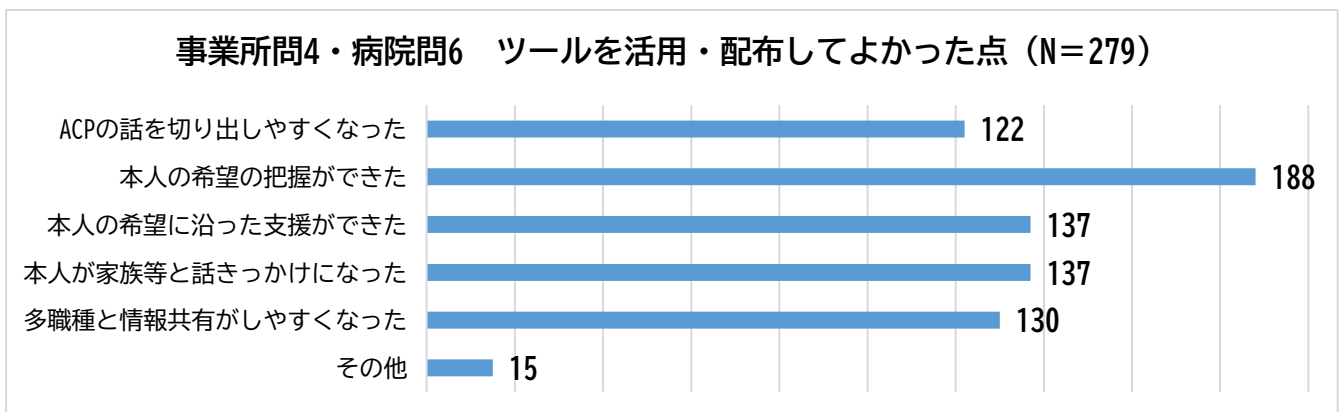


		【病院】問4 ツールを活用・配布する方法											
		回答総事業所数	①・②回答者総数	職員が説明、手渡し	入院の書類に同封	外来に設置し自由に取れる	病棟に設置し自由に取れる	その他	4-①職員が説明、手渡し	4-②入院の書類に同封	4-③外来に設置し自由に取れる	4-④病棟に設置し自由に取れる	4-⑤その他
1	病院	18	10	7	3	0	0	3	70%	30%	0%	0%	30%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

- 【その他の詳細】・外来時、訪問診療時に話をしながらタイミングをみておわたし
- ・「元気なうちから手帳」は外来の希望者に渡している
 - ・特別なツールは使用していない

事業所用 問4・病院用 問6 ツールを活用・配布してよかった点は何ですか。※あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択)



【事業所問4・病院問6】

	回答総事業所数	問4ツールを活用・配布してよかった点													
		①・②回答者総数	ACPの話を切り出しやすくなった	本人の希望の把握ができた	本人の希望に沿った支援ができた	本人が家族等と話きっかけになった	多職種と情報が共有しやすくなった	その他	4-① ACPの話を切り出しやすくなった	4-② 本人の希望の把握ができた	4-③ 本人の希望に沿った支援ができた	4-④ 本人が家族等と話きっかけになった	4-⑤ 多職種と情報が共有しやすくなった	4-⑥ その他	
1 病院	18	10	3	3	3	3	5	1	30%	30%	30%	30%	50%	10%	
2 介護医療院	1	0													
3 診療所	117	36	17	20	16	16	14	4	47%	56%	44%	44%	39%	11%	
4 歯科診療所	53	2	0	0	0	1	0	0	0%	0%	0%	50%	0%	0%	
5 薬局	79	8	1	4	3	4	2	0	3%	50%	38%	50%	25%	0%	
6 訪問看護	32	20	8	16	11	10	12	1	22%	80%	55%	50%	60%	5%	
7 訪問リハ	13	5	1	4	3	2	3	0	3%	80%	60%	40%	60%	0%	
8 包括	20	18	16	13	4	10	3	0	44%	72%	22%	56%	17%	0%	
9 居宅介護支援	93	61	36	42	24	31	21	2	100%	69%	39%	51%	34%	3%	
10 訪問介護	52	13	1	10	7	5	6	0	3%	77%	54%	38%	46%	0%	
12 定期巡回	6	1	0	1	0	1	1	0	0%	100%	0%	100%	100%	0%	
13 小規模多機能	20	9	4	8	6	5	5	1	11%	89%	67%	56%	56%	11%	
14 看護小規模多機能	2	2	2	2	2	1	1	0	6%	100%	100%	50%	50%	0%	
15 訪問入浴介護	2	0													
16 通所介護	49	7	3	5	6	4	4	1	43%	71%	86%	57%	57%	14%	
17 地域密着型通所	40	11	0	8	3	5	6	0	0%	73%	27%	45%	55%	0%	
18 通所リハ	29	7	2	6	6	4	5	0	29%	86%	86%	57%	71%	0%	
19 認知症対応型通所	6	0													
20 短期入所生活介護	38	10	2	4	5	3	7	0	20%	40%	50%	30%	70%	0%	
21 短期入所療養介護	6	2	1	2	2	2	2	0	50%	100%	100%	100%	100%	0%	
22 福祉用具	13	1	0	1	1	0	1	0	0%	100%	100%	0%	100%	0%	
23 特養	19	10	7	4	4	4	7	3	70%	40%	40%	40%	70%	30%	
24 老健	7	4	2	4	3	3	3	0	50%	100%	75%	75%	75%	0%	
25 介護療養型医療施設	1	0													
26 有料老人ホーム	30	15	9	11	12	11	9	1	60%	73%	80%	73%	60%	7%	
27 認知症)グループホーム	28	16	4	12	10	5	6	0	25%	75%	63%	31%	38%	0%	
28 地域密着型特養	9	5	3	3	2	4	3	0	60%	60%	40%	80%	60%	0%	
29 軽費老人ホーム	8	1	0	1	1	1	1	0	0%	100%	100%	100%	100%	0%	
31 原爆特別養護ホーム	1	0													
32 養護老人ホーム	1	0													
34 サ高住	12	5	0	4	3	2	3	1	0%	80%	60%	40%	60%	20%	
(病院+事業所)	805	279	122	188	137	137	130	15	44%	67%	49%	49%	47%	5%	
事業所のみ	787	269	119	185	134	134	125	14	44%	69%	50%	50%	46%	5%	

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

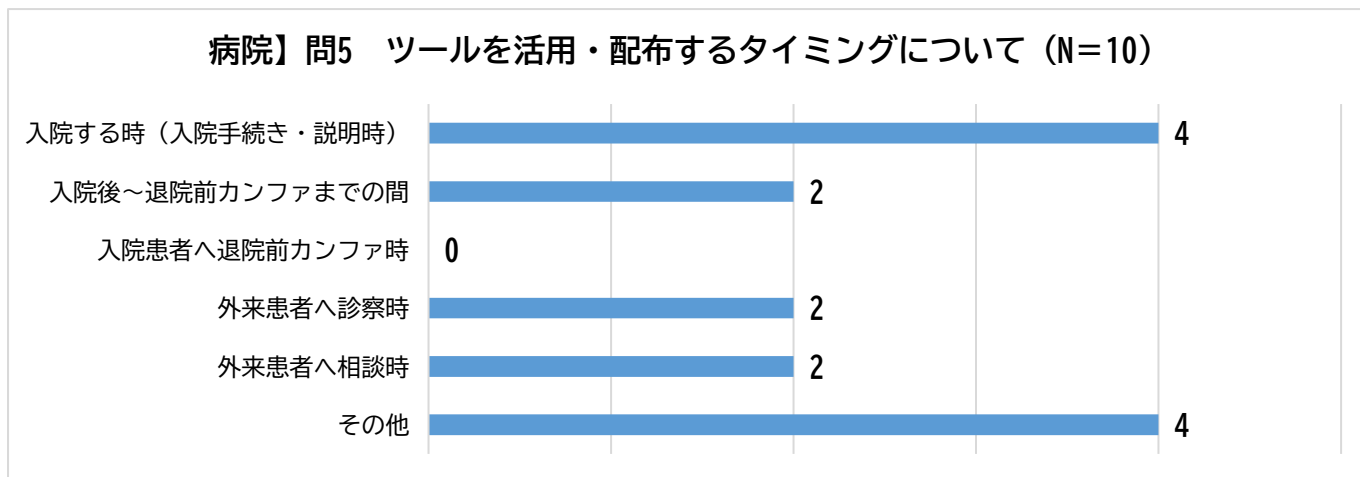
【事業所種別集計】

	切り出し やすくな った	希望が 把握でき た	希望に沿 った支援 ができた	話すきつ かけにな った	情報共有 がしやす くなった
全体 (N=279)	44%	67%	49%	49%	47%
病院 (N=10)	30%	30%	30%	30%	50%
診療所 (N=36)	47%	56%	44%	44%	39%
訪問看護 (N=20)	22%	80%	55%	50%	60%
居宅介護支援事業所 (N=61)	100%	69%	39%	51%	34%
サービス事業所 (N=68)	24%	75%	60%	47%	60%
通所系サービス (N=37)	22%	68%	59%	49%	65%
訪問系サービス (N=20)	10%	80%	55%	40%	55%
複合型サービス (N=11)	55%	91%	73%	55%	55%
入所系施設 (N=56)	45%	70%	63%	54%	57%

【その他の詳細】

特養	・ 家族が検討するきっかけとなった／・ 入居前に本人、家族の意向が確認できる
居宅介護支援	・ 配布したが活用されなかった／・ 理解してもらいやすかった
サ高住	・ 今後「元気なうちから手帳」を使用してみたい
小規模多機能	・ 家族も考えて下さるきっかけになった
診療所	・ 特に使用していない／・ 本人や家族へ最終確認を行う時に役立った ・ 以前は独自で作成していたが、今は「元気なうちから手帳」を利用
包括	・ 住民が自分事として考えるよい機会となっている
有料老人ホーム	・ 本人、家族の希望を確認することができる
通所介護	・ 興味・関心のあった方にとってはきっかけ作りとなり、興味・関心のなかった方にとっては、 そういったものがあると知るきっかけ作りとなった

病院問5 ツールを活用・配布するタイミングについて教えてください。※あてはまるものすべてに○をつけて下さい（複数選択）



		【病院】問5 ツールを活用・配布するタイミング													
		回答総事業所数	①・②回答者総数	入院する時 (入院手続き・説明時)	入院後～退院前カンファまでの間	入院患者へ退院前カンファ時	外来患者へ診察時	外来患者へ相談時	その他	5-①入院する時 (入院手続き・説明時)	5-②入院後～退院前カンファまでの間	5-③入院患者へ退院前カンファ時	5-④外来患者へ診察時	5-⑤外来患者へ相談時	5-⑥その他
1	病院	18	10	4	2	0	2	2	4	40%	20%	0%	20%	20%	40%

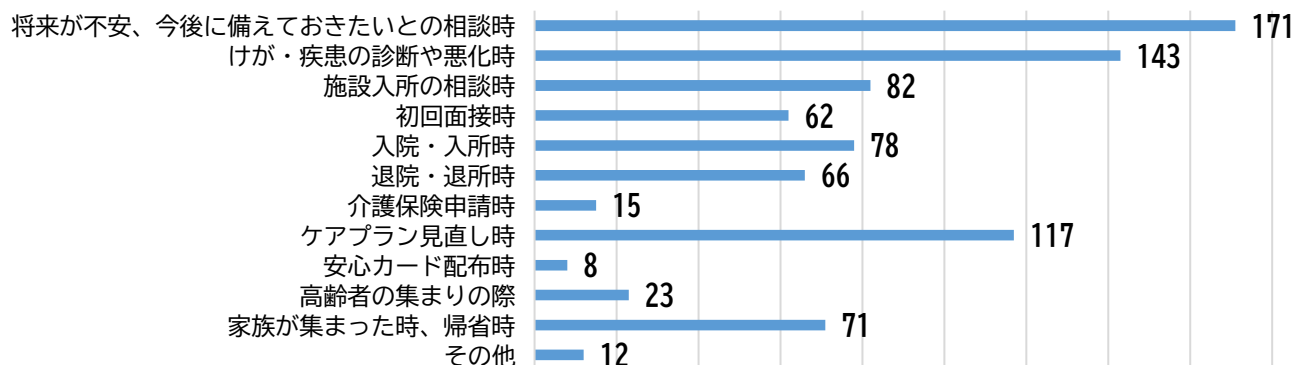
※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

【その他の詳細】・訪問診療時

- ・医師の判断で
- ・状況で必要となった時
- ・入院中、主治医が必要と判断した時

事業所問5 ACPについて切り出すタイミングについて教えてください。※あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数選択)

事業所] 問5 ACPについて切り出すタイミング (N=269)



		【事業所】問5 ACPについて切り出すタイミングについて																										
	回答総事業所数	①・②回答者総数	将来が不安、今後に備えておきたいとの相談時	けが・疾患の診断や悪化時	施設入所の相談時	初回面接時	入院・入所時	退院・退所時	介護保険申請時	ケアプラン見直し時	安心カード配布時	高齢者の集まりの際	家族が集まった時、帰省時	その他	5-① 将来が不安、今後に備えておきたいとの相談時	5-② けが・疾患の診断や悪化時	5-③ 施設入所の相談時	5-④ 初回面接時	5-⑤ 入院・入所時	5-⑥ 退院・退所時	5-⑦ 介護保険申請時	5-⑧ ケアプラン見直し時	5-⑨ 安心カード配布時	5-⑩ 高齢者の集まりの際	5-⑪ 家族が集まった時、帰省時	5-⑫ その他		
1 病院	18	10																										
2 介護医療院	1	0																										
3 診療所	117	36	29	23	14	4	9	8	5	6	0	3	10	3	81%	64%	39%	11%	25%	22%	14%	17%	0%	8%	28%	8%		
4 歯科診療所	53	2	1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	2	0	50%	100%	50%	0%	100%	50%	0%	0%	0%	0%	100%	0%		
5 薬局	79	8	6	2	1	2	0	1	1	2	0	0	1	1	75%	25%	13%	25%	0%	13%	13%	25%	0%	0%	13%	13%		
6 訪問看護	32	20	13	10	2	6	1	3	0	3	0	0	5	0	65%	50%	10%	30%	5%	15%	0%	15%	0%	0%	25%	0%		
7 訪問リハ	13	5	2	1	2	2	1	2	0	4	0	0	1	0	40%	20%	40%	40%	20%	40%	0%	80%	0%	0%	20%	0%		
8 包括	20	18	18	8	2	2	1	4	3	4	3	16	5	1	100%	44%	11%	11%	6%	22%	17%	22%	17%	89%	28%	6%		
9 居宅介護支援	93	61	53	35	19	8	7	18	1	28	5	2	21	1	87%	57%	31%	13%	11%	30%	2%	46%	8%	3%	34%	2%		
10 訪問介護	52	13	10	4	5	7	1	1	1	10	0	0	6	0	77%	31%	38%	54%	8%	8%	8%	77%	0%	0%	46%	0%		
12 定期巡回	6	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	100%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%		
13 小規模多機能	20	9	6	6	4	3	4	1	0	5	0	0	4	1	67%	67%	44%	33%	44%	11%	0%	56%	0%	0%	44%	11%		
14 看護小規模多機能	2	2	1	2	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	50%	100%	0%	50%	50%	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%		
15 訪問入浴介護	2	0																										
16 通所介護	49	7	3	4	0	3	0	3	0	6	0	1	3	0	43%	57%	0%	43%	0%	43%	0%	86%	0%	14%	43%	0%		
17 地域密着型通所	40	11	6	4	4	3	2	2	1	8	0	1	1	0	55%	36%	36%	27%	18%	18%	9%	73%	0%	9%	9%	0%		
18 通所リハ	29	7	3	2	2	1	2	3	0	5	0	0	2	1	43%	29%	29%	14%	29%	43%	0%	71%	0%	0%	29%	14%		
19 認知症対応型通所	6	0																										
20 短期入所生活介護	38	10	3	6	4	3	6	1	1	6	0	0	1	0	30%	60%	40%	30%	60%	10%	10%	60%	0%	0%	10%	0%		
21 短期入所療養介護	6	2	0	0	2	1	2	2	0	2	0	0	1	0	0%	0%	100%	50%	100%	100%	0%	100%	0%	0%	50%	0%		
22 福祉用具	13	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%		
23 特養	19	10	0	5	3	1	7	2	0	4	0	0	1	2	0%	50%	30%	10%	70%	20%	0%	40%	0%	0%	10%	20%		
24 老健	7	4	0	1	2	2	3	2	0	2	0	0	1	0	0%	25%	50%	50%	75%	50%	0%	50%	0%	0%	25%	0%		
25 介護療養型医療施設	1	0																										
26 有料老人ホーム	30	15	7	12	4	6	10	6	0	4	0	0	2	2	47%	80%	27%	40%	67%	40%	0%	27%	0%	0%	13%	13%		
27 認知症グループホーム	28	16	4	11	6	3	13	3	1	9	0	0	2	0	25%	69%	38%	19%	81%	19%	6%	56%	0%	0%	13%	0%		
28 地域密着型特養	9	5	1	2	1	2	4	1	0	3	0	0	0	0	20%	40%	20%	40%	80%	20%	0%	60%	0%	0%	0%	0%		
29 軽費老人ホーム	8	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	100%	100%	100%	0%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%		
31 原簿特別養護ホーム	1	0																										
32 養護老人ホーム	1	0																										
34 サ高住	12	5	2	1	3	1	2	0	1	3	0	0	1	0	40%	20%	60%	20%	40%	0%	20%	60%	0%	0%	20%	0%		
(病院+事業所)	805	279																										
事業所のみ	787	269	171	143	82	62	78	66	15	117	8	23	71	12	64%	53%	30%	23%	29%	25%	6%	43%	3%	9%	26%	4%		

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

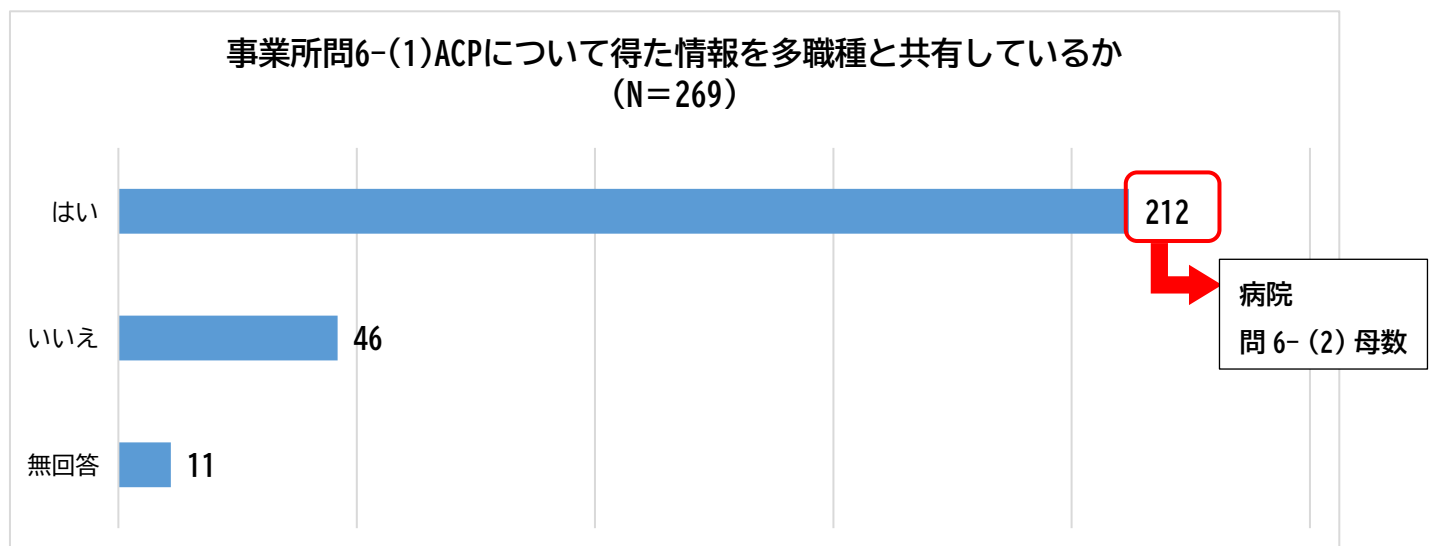
【事業所種別集計】

	相談があった時	ケガや疾患の悪化時	施設入所の相談時	初回面接時	入院・入所時	退院・退所時	介護保険申請時	ケアプラン見直し時	家族が集まった時
全体 (N=269)	64%	53%	30%	23%	29%	25%	6%	43%	26%
診療所 (N=36)	81%	64%	39%	11%	25%	22%	14%	17%	28%
訪問看護 (N=20)	65%	50%	10%	30%	5%	15%	0%	15%	25%
居宅介護支援事業所 (N=61)	87%	57%	31%	13%	11%	30%	2%	46%	34%
サービス事業所 (N=68)	53%	44%	34%	37%	28%	24%	4%	71%	28%
通所系サービス (N=37)	41%	43%	32%	30%	32%	30%	5%	73%	22%
訪問系サービス (N=20)	70%	30%	35%	50%	10%	20%	5%	75%	35%
複合型サービス (N=11)	64%	73%	36%	36%	45%	9%	0%	55%	36%
入所系施設 (N=56)	27%	59%	36%	27%	70%	27%	4%	46%	14%

【その他の詳細】

居宅介護支援	・モニタリング訪問時
小規模多機能	・敬老の日のプレゼント配布時に一緒に配布
診療所	・日々の診療の中で／・家族と受診したとき ・比較的元気だが、高齢 85 歳以上、独居の方等に外来診療のついでに話している
包括	・認知症カフェ、介護家族会
地域密着型特養	・看取りに関しては入所時に家族様に意向を確認、入居者の心身の状態の変化においても都度意向を確認している
通所リハ	・利用者との会話の中で利用者が今後のことについて話した時（適宜）
薬局	・本人より何げない会話の中で不安があった時に
有料老人ホーム	・入居契約時、看取り指針説明時に配布／・主治医から看取りと診断された時

事業所問 6-(1) ACP について得た情報を、在宅医療に関わる多職種と共有していますか。※あてはまるもの 1 つに○をつけてください。(1 つ選択)



【事業所問 6-(1)】

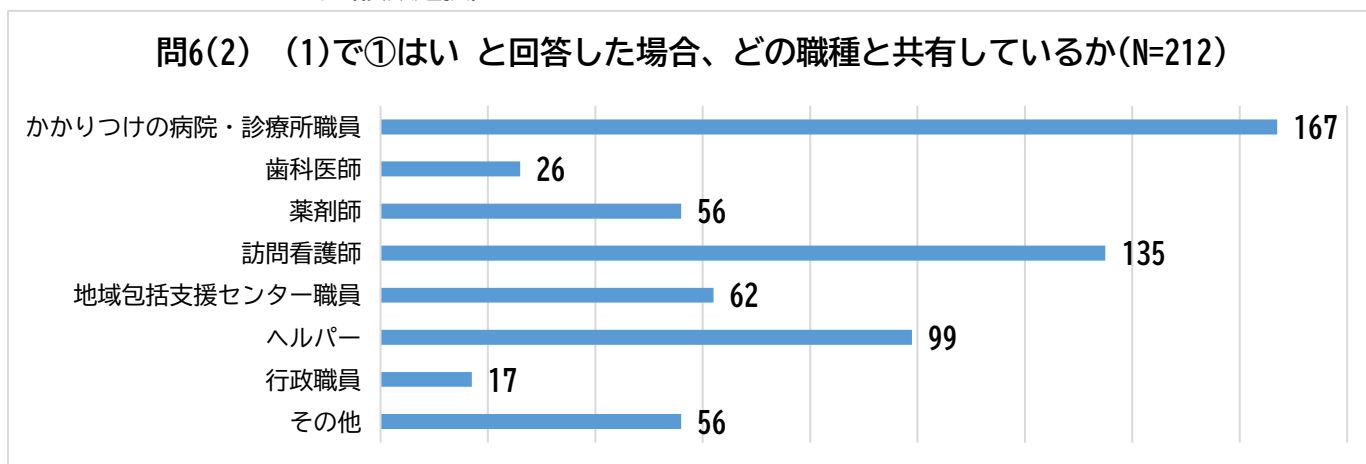
		回答総事業所数	①・②回答者総数	【事業所】問6-(1)ACPの情報を多職種と共有しているか					
				はい	いいえ	無回答	6-(1)① はい	6-(1)② いいえ	無回答
1	病院	18	10						
2	介護医療院	1	0						
3	診療所	117	36	30	4	2	83%	11%	6%
4	歯科診療所	53	2	1	1	0	50%	50%	0%
5	薬局	79	8	6	2	0	75%	25%	0%
6	訪問看護	32	20	18	0	2	90%	0%	10%
7	訪問リハ	13	5	5	0	0	100%	0%	0%
8	包括	20	18	9	8	1	50%	44%	6%
9	居宅介護支援	93	61	52	7	2	85%	11%	3%
10	訪問介護	52	13	10	3	0	77%	23%	0%
12	定期巡回	6	1	1	0	0	100%	0%	0%
13	小規模多機能	20	9	8	1	0	89%	11%	0%
14	看護小規模多機能	2	2	2	0	0	100%	0%	0%
15	訪問入浴介護	2	0						
16	通所介護	49	7	7	0	0	100%	0%	0%
17	地域密着型通所	40	11	9	2	0	82%	18%	0%
18	通所リハ	29	7	6	1	0	86%	14%	0%
19	認知症対応型通所	6	0						
20	短期入所生活介護	38	10	8	2	0	80%	20%	0%
21	短期入所療養介護	6	2	2	0	0	100%	0%	0%
22	福祉用具	13	1	1	0	0	100%	0%	0%
23	特養	19	10	3	5	2	30%	50%	20%
24	老健	7	4	2	2	0	50%	50%	0%
25	介護療養型医療施設	1	0						
26	有料老人ホーム	30	15	14	0	1	93%	0%	7%
27	認知症)グループホーム	28	16	11	5	0	69%	31%	0%
28	地域密着型特養	9	5	2	2	1	40%	40%	20%
29	軽費老人ホーム	8	1	1	0	0	100%	0%	0%
31	原爆特別養護ホーム	1	0						
32	養護老人ホーム	1	0						
34	サ高住	12	5	4	1	0	80%	20%	0%
	(病院+事業所)	805	279						
	事業所のみ	787	269	212	46	11	79%	17%	4%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

【事業所種別集計】

	はい	いいえ
全体 (N=269)	79%	17%
診療所 (N=36)	83%	11%
訪問看護 (N=20)	90%	0%
居宅介護支援事業所 (N=61)	85%	11%
サービス事業所 (N=68)	87%	13%
通所系サービス (N=37)	86%	14%
訪問系サービス (N=20)	85%	15%
複合型サービス (N=11)	91%	9%
入所系施設 (N=56)	66%	27%

事業所問 6-(2) 問 6-(1)で①「はい」と回答した場合、どの職種と共有していますか。※あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択)



【事業所問 6-(2)】

	回答総事業所数	問6(2) (1)で①はいと回答した場合、どの職種と共有しているか。										6-(2) ① かけの病院・診療所職員							
		①・② 回答者総数	① 回答者	② 回答者	かけの病院・診療所職員	歯科医師	薬剤師	訪問看護師	地域包括支援センター職員	ヘルパー	行政職員	その他	6-(2) ② 歯科医師	6-(2) ③ 薬剤師	6-(2) ④ 訪問看護師	6-(2) ⑤ 地域包括支援センター職員	6-(2) ⑥ ヘルパー	6-(2) ⑦ 行政職員	6-(2) ⑧ その他
1 病院	18	10	9																
2 介護医療院	1	0																	
3 診療所	117	36	30	12	1	10	26	13	7	1	8	40%	3%	33%	87%	43%	23%	3%	27%
4 歯科診療所	53	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
5 薬局	79	8	6	6	1	1	4	3	3	1	1	100%	17%	17%	67%	50%	50%	17%	17%
6 訪問看護	32	20	18	15	2	8	6	3	9	2	12	83%	11%	44%	33%	17%	50%	11%	67%
7 訪問リハ	13	5	5	4	0	2	2	1	2	1	2	80%	0%	40%	40%	20%	40%	20%	40%
8 包括	20	18	9	9	0	4	7	4	4	2	2	100%	0%	44%	78%	44%	44%	22%	22%
9 居宅介護支援	93	61	52	48	4	18	46	12	40	5	11	92%	8%	35%	88%	23%	77%	10%	21%
10 訪問介護	52	13	10	8	2	1	6	3	9	2	2	80%	20%	10%	60%	30%	90%	20%	20%
12 定期巡回	6	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	100%	100%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
13 小規模多機能	20	9	8	8	1	1	6	2	0	0	1	100%	13%	13%	75%	25%	0%	0%	13%
14 看護小規模多機能	2	2	2	1	0	0	2	0	0	0	1	50%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	50%
15 訪問入浴介護	2	0																	
16 通所介護	49	7	7	2	0	0	2	5	4	0	2	29%	0%	0%	29%	71%	57%	0%	29%
17 地域密着型通所	40	11	9	4	0	1	5	3	5	0	3	44%	0%	11%	56%	33%	56%	0%	33%
18 通所リハ	29	7	6	5	0	0	3	3	3	1	3	83%	0%	0%	50%	50%	50%	17%	50%
19 認知症対応型通所	6	0																	
20 短期入所生活介護	38	10	8	6	0	0	3	0	1	0	3	75%	0%	0%	38%	0%	13%	0%	38%
21 短期入所療養介護	6	2	2	2	1	0	1	2	1	1	0	100%	50%	0%	50%	100%	50%	50%	0%
22 福祉用具	13	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
23 特養	19	10	3	3	0	0	0	0	0	0	1	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%
24 老健	7	4	2	2	1	0	1	2	1	1	0	100%	50%	0%	50%	100%	50%	50%	0%
25 介護療養型医療施設	1	0																	
26 有料老人ホーム	30	15	14	13	6	7	9	3	8	0	1	93%	43%	50%	64%	21%	57%	0%	7%
27 認知症)グループホーム	28	16	11	11	3	1	2	0	0	0	0	100%	27%	9%	18%	0%	0%	0%	0%
28 地域密着型特養	9	5	2	1	0	0	0	0	0	0	1	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50%
29 軽費老人ホーム	8	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	100%	0%	100%	100%	100%	100%	0%	0%
31 原爆特別養護ホーム	1	0																	
32 養護老人ホーム	1	0																	
34 サ高住	12	5	4	4	2	1	2	1	1	0	1	100%	50%	25%	50%	25%	25%	0%	25%
(病院+事業所)	805	279	221																
事業所のみ	787	269	212	167	26	56	135	62	99	17	56	79%	12%	26%	64%	29%	47%	8%	26%

※割合(%)は、「事問 6 (2) 回答者」を母数とする。

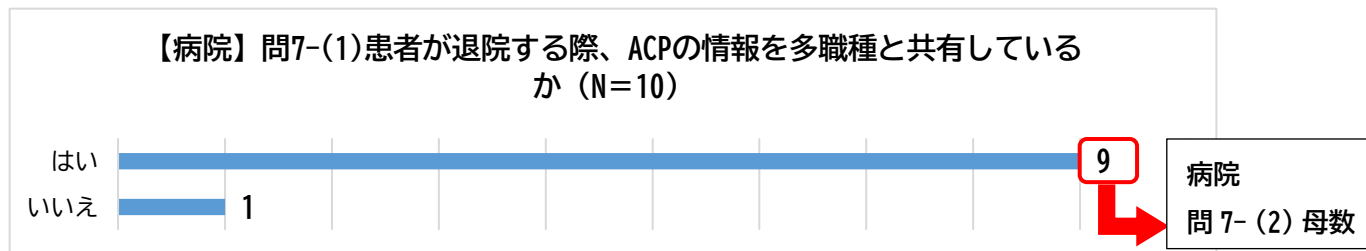
【事業所種別集計】

	かかりつけ医	歯科医師	薬剤師	訪問看護師	包括	ヘルパー	行政
全体 (N=212)	79%	12%	26%	64%	29%	47%	8%
診療所 (N=30)	40%	3%	33%	87%	43%	23%	3%
訪問看護 (N=18)	83%	11%	44%	33%	17%	50%	11%
居宅介護支援事業所 (N=52)	92%	8%	35%	88%	23%	77%	10%
サービス事業所 (N=59)	69%	8%	8%	53%	34%	42%	8%
通所系サービス (N=32)	59%	3%	3%	44%	41%	44%	6%
訪問系サービス (N=17)	76%	18%	18%	53%	29%	65%	18%
複合型サービス (N=10)	90%	10%	10%	80%	20%	0%	0%
入所系施設 (N=37)	95%	32%	27%	41%	19%	30%	3%

【その他の詳細】

特養	<ul style="list-style-type: none"> 施設職員（ケアマネ・看護師・介護職員・歯科衛生士など） 特養なので主治医・看護師・介護職員・機能訓練指導員・栄養士と共有
<ul style="list-style-type: none"> 看護小規模多機能 サ高住／・小規模多機能 包括／・地域密着型通所 通所介護／・通所リハ 訪問介護／・訪問リハ 薬局／・有料老人ホーム 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー
居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> 通所サービス事業所／・訪問リハ／・利用しているサービス事業所 ターミナルの場合は家族、支援者と共有／・ショートステイ／・福祉用具 ケアハウス、有料ホーム等の職員／・本人様を支援している関係者すべて
診療所	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャー／・入所施設職員 法人内の訪問看護師、ケアマネ（居宅やグループホーム、小規模多機能ホーム）
短期入所生活介護	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員／・施設内関係職員
地域密着型特養	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の看護介護職、栄養、機能訓練、相談職
福祉用具	<ul style="list-style-type: none"> 生前整理などの紹介をいただいた居宅介護支援事業所
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> 主治医、入院する時は看護サマリーに記載している 本人の家族、親族、福祉用具／・ケアマネジャー／・施設職員／・PT、OT

病院問 7-(1) 患者が退院（転院・入所含む）する際に、ACP について得た情報を、在宅・転院先・施設等関わる多職種と共有していますか。※あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

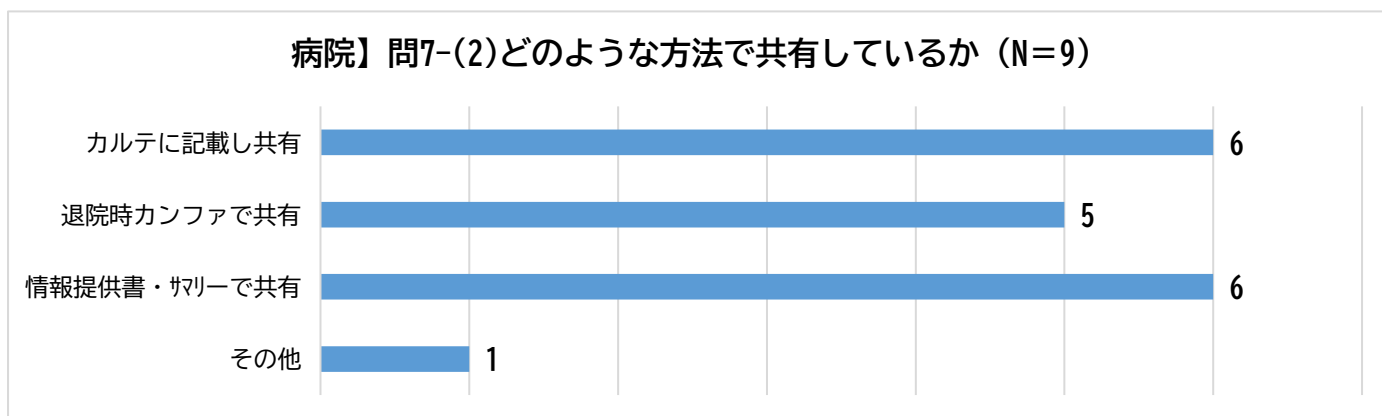


【病院】問7-(1)患者が退院する際、ACPの情報を多職種と共有しているか

病院	回答総事業所数	①・②回答者総数	【病院】問7-(1)患者が退院する際、ACPの情報を多職種と共有しているか					
			はい	いいえ	無回答	7-(1)①はい	7-(1)②いいえ	無回答
	18	10	9	1	0	90%	10%	0%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

病院問 7-(2) 問 7-(1)で①「はい」と回答された場合、どのような方法で共有していますか。※あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)



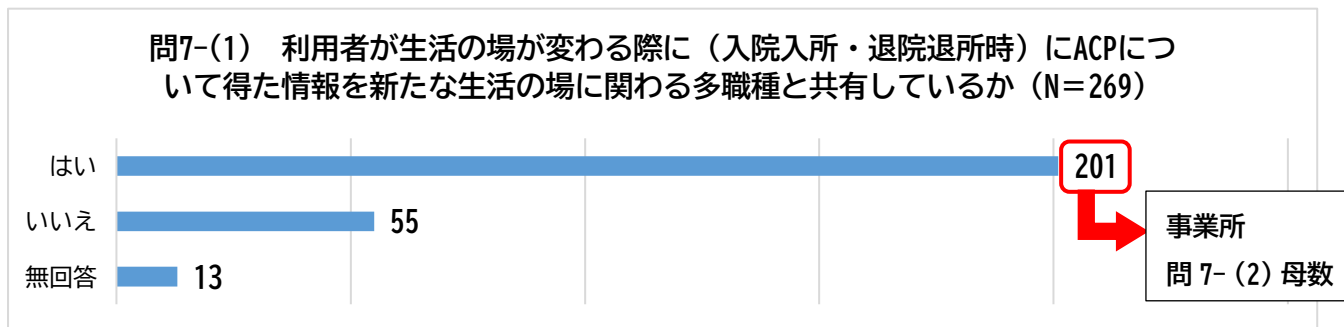
7(1)で①と回答→ どのような方法で共有しているか

病院	回答総事業所数	①・②回答者総数	7(1)で①と回答→ どのような方法で共有しているか								
			カルテに記載し共有	退院時カンファで共有	情報提供書・マリーで共有	その他	7-(2)①カルテに記載し共有	7-(2)②退院時カンファで共有	7-(2)③情報提供書・マリーで共有	7-(2)④その他	
	18	10	9	6	5	6	1	67%	56%	67%	11%

※割合(%)は、「病問 7(2)回答者」を母数とする。

【その他の詳細】 ・外来カルテに書式のコピーを入れている（退院時）

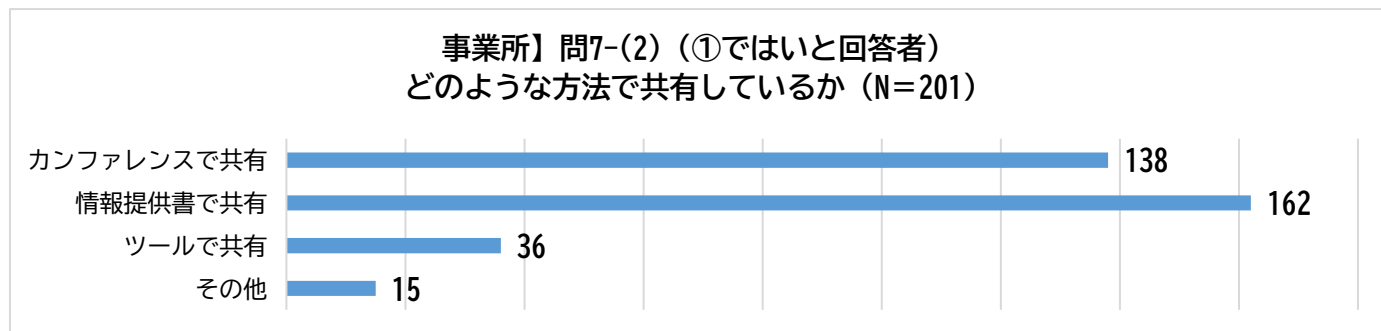
事業所問 7-(1) 利用者が生活の場が変わる際（入院入所・退院退所等）に、ACP について得た情報を、新たな生活の場に関わる多職種と共有していますか。※あてはまるもの 1 つに○をつけてください。（1 つ選択）



	回答総事業所数	①・②回答者総数	【事業所】問7-(1)生活の場が変わる際に新たな多職種と情報共有しているか					
			はい	いいえ	無回答	7-(1) ① はい	7-(1) ② いいえ	無回答
1 病院	18	10						
2 介護医療院	1	0						
3 診療所	117	36	24	10	2	67%	28%	6%
4 歯科診療所	53	2	0	2	0	0%	100%	0%
5 薬局	79	8	6	2	0	75%	25%	0%
6 訪問看護	32	20	16	2	2	80%	10%	10%
7 訪問リハ	13	5	4	1	0	80%	20%	0%
8 包括	20	18	6	11	1	33%	61%	6%
9 居宅介護支援	93	61	47	9	5	77%	15%	8%
10 訪問介護	52	13	10	3	0	77%	23%	0%
12 定期巡回	6	1	1	0	0	100%	0%	0%
13 小規模多機能	20	9	8	1	0	89%	11%	0%
14 看護小規模多機能	2	2	1	1	0	50%	50%	0%
15 訪問入浴介護	2	0						
16 通所介護	49	7	6	0	1	86%	0%	14%
17 地域密着型通所	40	11	10	1	0	91%	9%	0%
18 通所リハ	29	7	5	1	1	71%	14%	14%
19 認知症対応型通所	6	0						
20 短期入所生活介護	38	10	9	1	0	90%	10%	0%
21 短期入所療養介護	6	2	2	0	0	100%	0%	0%
22 福祉用具	13	1	1	0	0	100%	0%	0%
23 特養	19	10	8	2	0	80%	20%	0%
24 老健	7	4	3	1	0	75%	25%	0%
25 介護療養型医療施設	1	0						
26 有料老人ホーム	30	15	14	1	0	93%	7%	0%
27 認知症)グループホーム	28	16	12	3	1	75%	19%	6%
28 地域密着型特養	9	5	4	1	0	80%	20%	0%
29 軽費老人ホーム	8	1	1	0	0	100%	0%	0%
31 原爆特別養護ホーム	1	0						
32 養護老人ホーム	1	0						
34 サ高住	12	5	3	2	0	60%	40%	0%
(病院+事業所)	805	279						
事業所のみ	787	269	201	55	13	75%	20%	5%

※割合(%)は、「①・②回答者総数」を母数とする。

事業所問 7-(2) 問 7-(1)で①「はい」と回答された場合、どのような方法で共有していますか。※あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択)



	回答総事業所数	①・②回答者総数	事問6(2)* 事問7(2) *事問7(2)回答者	問7(2) (1)で①はい と回答した場合、どのような方法で共有しているか										
				事問7(2)回答者	カンファレンスで共有	情報提供書で共有	ツールで共有	その他	7-(2)① カンファレンスで共有	7-(2)② 情報提供書で共有	7-(2)③ ツールで共有	7-(2)④ その他		
1 病院	18	10	9											
2 介護医療院	1	0												
3 診療所	117	36	30	24	14	18	3	2	58%	75%	13%	8%		
4 歯科診療所	53	2	1											
5 薬局	79	8	6	6	2	5	2	0	33%	83%	33%	0%		
6 訪問看護	32	20	18	16	13	11	2	0	81%	69%	13%	0%		
7 訪問リハ	13	5	5	4	3	3	0	0	75%	75%	0%	0%		
8 包括	20	18	9	6	1	4	4	1	17%	67%	67%	17%		
9 居宅介護支援	93	61	52	47	31	41	13	7	66%	87%	28%	15%		
10 訪問介護	52	13	10	10	7	10	3	0	70%	100%	30%	0%		
12 定期巡回	6	1	1	1	1	0	0	1	100%	0%	0%	100%		
13 小規模多機能	20	9	8	8	8	6	0	0	100%	75%	0%	0%		
14 看護小規模多機能	2	2	2	1	1	1	0	0	100%	100%	0%	0%		
15 訪問入浴介護	2	0												
16 通所介護	49	7	7	6	6	5	1	0	100%	83%	17%	0%		
17 地域密着型通所	40	11	9	10	5	8	2	0	50%	80%	20%	0%		
18 通所リハ	29	7	6	5	4	4	0	0	80%	80%	0%	0%		
19 認知症対応型通所	6	0												
20 短期入所生活介護	38	10	8	9	8	7	0	2	89%	78%	0%	22%		
21 短期入所療養介護	6	2	2	2	2	2	0	0	100%	100%	0%	0%		
22 福祉用具	13	1	1	1	1	0	1	0	100%	0%	100%	0%		
23 特養	19	10	3	8	6	5	1	1	75%	63%	13%	13%		
24 老健	7	4	2	3	2	3	0	0	67%	100%	0%	0%		
25 介護療養型医療施設	1	0												
26 有料老人ホーム	30	15	14	14	8	13	3	0	57%	93%	21%	0%		
27 認知症)グループホーム	28	16	11	12	9	8	1	0	75%	67%	8%	0%		
28 地域密着型特養	9	5	2	4	3	4	0	1	75%	100%	0%	25%		
29 軽費老人ホーム	8	1	1	1	1	1	0	0	100%	100%	0%	0%		
31 原爆特別養護ホーム	1	0												
32 養護老人ホーム	1	0												
34 サ高住	12	5	4	3	2	3	0	0	67%	100%	0%	0%		
(病院+事業所)	805	279	221											
事業所のみ	787	269	212	201	138	162	36	15	69%	81%	18%	7%		

※割合(%)は、「事問7(2)回答者」を母数とする。

【事業所種別集計】

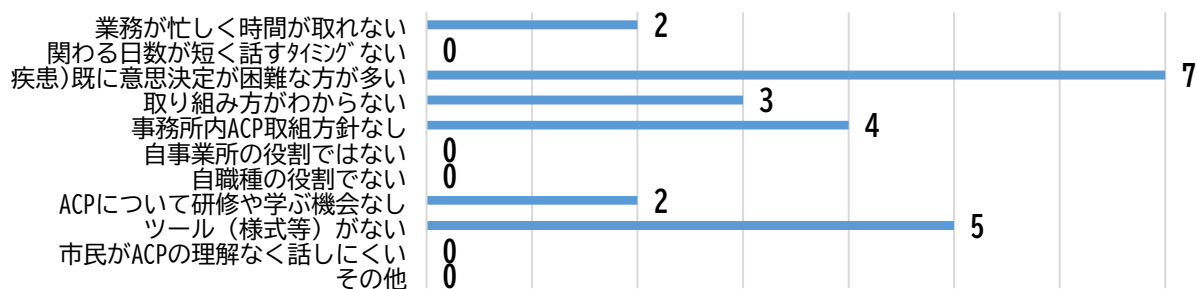
	カンファレンス	情報提供書	ツール
全体 (N=201)	69%	81%	18%
診療所 (N=24)	58%	75%	13%
訪問看護 (N=16)	81%	69%	13%
居宅介護支援事業所 (N=47)	66%	87%	28%
サービス事業所 (N=57)	81%	81%	12%
通所系サービス (N=32)	78%	81%	9%
訪問系サービス (N=16)	75%	81%	25%
複合型サービス (N=9)	100%	78%	0%
入所系施設 (N=45)	69%	82%	11%

【その他の詳細】

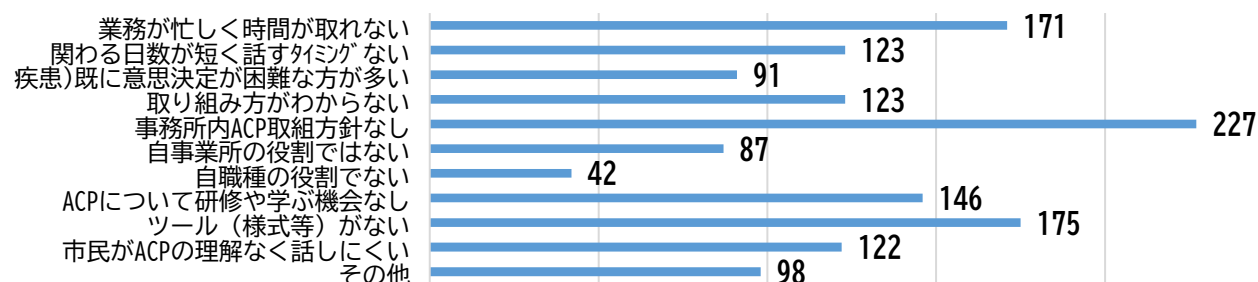
特養	・独自で作成している書式、様式で共有している
居宅介護支援	・口頭／・電話／・電話連絡で情報共有する際、口頭で／・訪問／・担当者会議
診療所	・長崎市医師会版「わたしの思い」のコピーを添付／・ケアマネジャーなどを通じて
包括	・必要により担当者会議で共有
地域密着型特養	・介護システム
定期巡回	・可能な場合、目につく場所へ貼って皆で共有している
短期入所生活介護	・ユニットのミーティング等

【病院用：問8・事業所用：問8 共通項目】 【問1で③「研修会に参加している」④「その他」⑤「取り組んでいない」と回答した方】
 問8 本人・家族等と本人の希望について話し合いやツールを配布していない理由は何ですか。 ※あてはまるものすべてに○をつけて下さい。(複数選択)

【病院】問8 ツールを配布していない理由 (N=14)



【事業所】問8 ツールを配布していない理由 (N=624)



【病院・事業所問 8】

	回答総事業所数	問8 問1で③・④・⑤と回答→ 本人・家族と本人の希望について話し合いやツールを配布していない理由																							
		①・② 回答者総数	③ 回答者	④ 回答者	⑤ 回答者	業務が忙しく時間が取れない	関わることが少ない	疾患)既に意思決定が困難が多い	取り組みがわからない	事務所内ACP取組方針なし	自事業の役割ではない	自種の役割でない	ACPIについて研修や学ぶ機会なし	ツール(様式等)がない	市民がACPの理なく話にくい	その他	8-① 業務が忙しく時間が取れない	8-② 関わる日数が短く話せない	8-③ 疾患)既に意思決定が困難が多い	8-④ 取り組みがわからない	8-⑤ 事務所内ACP取組方針なし	8-⑥ 自事業の役割ではない	8-⑦ 自種の役割でない	8-⑧ ACPIについて研修や学ぶ機会なし	8-⑨ ツール(様式等)がない
1 病院	18	10	14	2	0	7	3	4	0	0	2	5	0	0	14%	0%	50%	21%	29%	0%	0%	14%	36%	0%	0%
2 介護医療院	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0%	0%	100%	0%	100%	0%	0%	100%	0%	100%	0%
3 診療所	117	36	101	40	22	15	9	22	23	13	11	17	19	20	40%	22%	15%	9%	22%	23%	13%	11%	17%	19%	20%
4 歯科診療所	53	2	52	11	8	0	10	11	10	4	19	19	5	5	21%	15%	0%	19%	21%	19%	8%	37%	37%	10%	10%
5 薬局	79	8	74	30	37	7	22	33	9	7	12	25	12	7	41%	50%	9%	30%	45%	12%	9%	16%	34%	16%	9%
6 訪問看護	32	20	25	6	3	4	2	11	1	1	3	5	7	4	24%	12%	16%	8%	44%	4%	4%	12%	20%	28%	16%
7 訪問リハ	13	5	9	4	2	1	3	5	1	0	3	3	2	0	44%	22%	11%	33%	56%	11%	0%	33%	33%	22%	0%
8 包括	20	18	16	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	6%	0%	0%	0%	6%	0%	0%	0%	6%	6%	6%
9 居宅介護支援	93	61	68	11	10	13	14	18	0	2	2	12	20	14	16%	15%	19%	21%	26%	0%	3%	3%	18%	29%	21%
10 訪問介護	52	13	40	8	9	5	11	15	5	7	14	16	10	5	20%	23%	13%	28%	38%	13%	18%	35%	40%	25%	13%
12 定期巡回	6	1	6	3	0	1	0	1	0	1	3	1	2	1	50%	0%	17%	0%	17%	0%	17%	50%	17%	33%	17%
13 小規模多機能	20	9	12	4	1	6	4	5	1	0	2	3	2	2	33%	8%	50%	33%	42%	8%	0%	17%	25%	17%	17%
14 看護小規模多機能	2	2																							
15 訪問入浴介護	2	0	2	2	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	100%	50%	50%	0%	0%	0%	50%	50%	0%	0%	50%
16 通所介護	49	7	42	13	7	2	10	20	9	4	21	15	12	8	31%	17%	5%	24%	48%	21%	10%	50%	36%	29%	19%
17 地域密着型通所	40	11	29	12	3	2	10	12	8	0	10	14	6	7	41%	10%	7%	34%	41%	28%	0%	34%	48%	21%	24%
18 通所リハ	29	7	24	8	3	2	4	15	5	0	6	7	4	4	33%	13%	8%	17%	63%	21%	0%	25%	29%	17%	17%
19 認知症対応型通所	6	0	6	4	2	3	1	3	0	0	2	2	1	0	67%	33%	50%	17%	50%	0%	0%	33%	33%	17%	0%
20 短期入所生活介護	38	10	29	7	8	4	7	13	7	0	9	7	5	3	24%	28%	14%	24%	45%	24%	0%	31%	24%	17%	10%
21 短期入所療養介護	6	2	4	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0%	25%	0%	0%	25%	75%	0%	0%	0%	0%	0%
22 福祉用具	13	1	13	0	3	1	2	7	0	2	6	5	1	1	0%	23%	8%	15%	54%	0%	15%	46%	38%	8%	8%
23 特養	19	10	11	2	0	6	1	7	0	0	3	4	2	3	18%	0%	55%	9%	64%	0%	0%	27%	36%	18%	27%
24 老健	7	4	3	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	0	0%	0%	0%	0%	67%	67%	0%	33%	33%	0%	0%
25 介護療養型医療施設	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
26 有料老人ホーム	30	15	22	1	1	5	3	5	1	0	3	5	4	3	5%	5%	23%	14%	23%	5%	0%	14%	23%	18%	14%
27 認知症)グループホーム	28	16	14	2	1	8	3	6	0	0	6	6	1	2	14%	7%	57%	21%	43%	0%	0%	43%	43%	7%	14%
28 地域密着型特養	9	5	4	1	1	1	1	3	0	0	2	2	2	1	25%	25%	25%	25%	75%	0%	0%	50%	50%	50%	25%
29 軽費老人ホーム	8	1	7	0	0	0	2	5	0	0	3	2	1	2	0%	0%	0%	29%	71%	0%	0%	43%	29%	14%	29%
31 原爆特別養護ホーム	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0%	0%	100%	0%	100%	100%	0%	0%	0%	0%	100%
32 養護老人ホーム	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0%	0%	0%	100%	100%	0%	0%	100%	100%	0%	0%
34 サ高住	12	5	7	1	0	2	3	2	1	0	2	2	2	2	14%	0%	29%	43%	29%	14%	0%	29%	29%	29%	29%
(病院+事業所)	805	279	638	173	123	98	126	231	87	42	148	180	122	98	27%	19%	15%	20%	36%	14%	7%	23%	28%	19%	15%
事業所のみ	787	269	624	171	123	91	123	227	87	42	146	175	122	98	27%	20%	15%	20%	36%	14%	7%	23%	28%	20%	16%

※割合(%)は、「③・④・⑤回答者」を母数とする。

【事業所種別集計】

	既に意思決定困難	取組み方がわからない	事業所内の方針が決まっていない	事業所の役割でない	職種の役割でない	学ぶ機会がない	ツールがない	市民が理解していない
全体 (N=638)	15%	20%	36%	14%	7%	23%	28%	19%
病院 (N=14)	50%	21%	29%	0%	0%	14%	36%	0%
診療所 (N=101)	15%	9%	22%	23%	13%	11%	17%	19%
歯科診療所 (N=52)	0%	19%	21%	19%	8%	37%	37%	10%
薬局 (N=74)	9%	30%	45%	12%	9%	16%	34%	16%
訪問看護 (N=25)	16%	8%	44%	4%	4%	12%	20%	28%
居宅介護支援事業所 (N=68)	19%	21%	26%	0%	3%	3%	18%	29%
サービス事業所 (N=216)	13%	24%	45%	18%	7%	36%	34%	21%
通所系サービス (N=134)	10%	24%	48%	24%	3%	36%	34%	21%
訪問系サービス (N=70)	13%	23%	40%	9%	16%	39%	36%	21%
複合型サービス (N=12)	50%	33%	42%	8%	0%	17%	25%	17%
入所系施設 (N=71)	32%	20%	46%	7%	0%	30%	32%	17%
軽度対象者施設 (N=8)	0%	38%	75%	0%	0%	50%	38%	13%
重度対象者施設 (N=63)	37%	17%	43%	8%	0%	27%	32%	17%

【その他の詳細】

介護療養型医療施設	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患の重症化の方とその家族の希望について話し合いカルテに記載している
特養	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に家族に確認（入所後の希望・看取りについてなど） ・個別に入所時、また看取期に対応した内容の書類（書式）にて対応している ・一般的な ACP の方針はない ・終末期のあり方について（意思確認書）をもとに、タイミングをみながら主治医と家族が話し合う機会を作っている
居宅介護支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ACP や「元気なうちから手帳」は知っているが、担当者会議等で話し合う機会に利用せず終わらせてしまっている（そのものが ACP かなと思うが…）／・準備中 ・相談があればタイミングで説明できるが相談がない／・話すタイミングがわからない ・有料老人ホーム入居者は、独居や家族等が居ても諸事情にて在宅生活が困難となってしまった方々であり、そもそも『看取り』の概念が互いに無い為 ・「取り組んでいない」回答に付随しますが、事業所職員全員がまだ ACP について理解しきれていない／・利用者や家族の方に ACP の理解が進んでいないと感じる ・かかりつけ医、カンファレンス時等、医療関係者同席の話し合いの場での聞き取りが、本人・家族にとっても具体的に理解しやすいと感じている ・知りたくない、考えたくない人を把握するのが難しく、周囲が感じる必要と当人の思いが一致しない

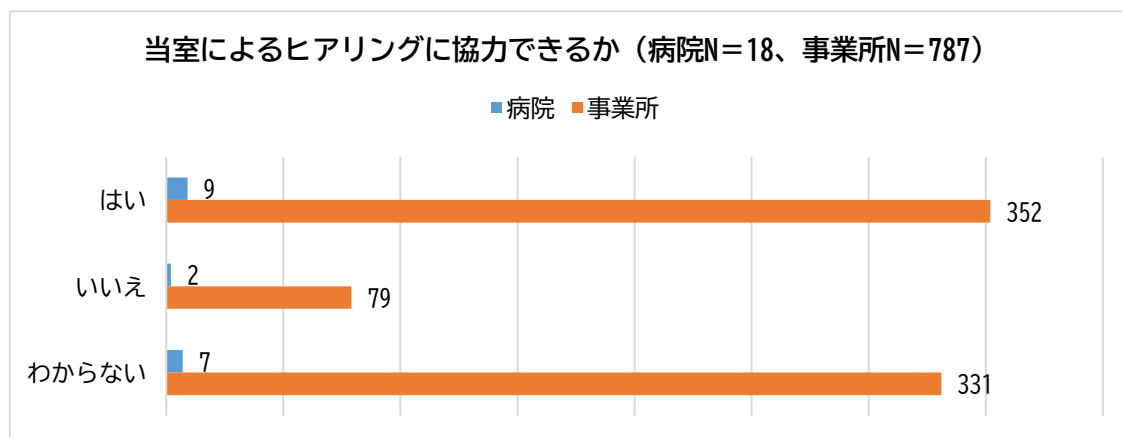
	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性は理解しているが、状況、タイミングが合わない／・きっかけ、タイミングを上手くつかめない ・取り組み方はわかっているつもりですが、自信が無い ・利用者、家族の受け止め方の度合いにより、主治医と相談しながらツールの配布については判断している ・ACP を抜きにしても、適宜今後のことは話をしていますが、事業所の母体が精神科で利用者の大半が精神疾患をもっていて家族関係が悪かったり人生の最終段階やエンディング等の言葉は不安を煽るし、「元気なうちから手帳」の5ページ以降は敏感な方には刺激が強いと感じます。健全な方が老化していく分には良いと思いますが…
軽費老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みを知らない ・入居者や家族に「終わり」を考えたくない方もおられ、事業所としては必要性を感じているが話しにくい
サ高住	<ul style="list-style-type: none"> ・ツール配布せずアセスメントしている ・ツールはあるが本人、家族には配布していない／・配布していいかわからない
歯科診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・自職種で積極的に関わるのは難しい／・ACP そのものを初めて聞いた ・患者さんから聞かれると、この制度があることは伝えるがこちらから積極的には話してはいない ・ACP のことを知らなかった／・現在対象となるような患者さんの診療をしていない
小規模多機能	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知識や意識が不足していました／・勉強不足で ACP について理解していない
診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんの多くは島で一人暮らしを最後まで続けたいという方が多く、それが困難になって島外の病院に入院し施設に入所というケースが一般的になっている。複雑な事情で家族との関わりを断っている患者さんもおられ、民生委員と協力しながら今後を考えるという流れが割にある ・さし迫って ACP を考える人がいない／・必要に応じて対応しようと考えている ・医師（院長）高齢のため、近年中に閉院予定／・対象となる患者がいない／・知らない ・国の指示により ACP に取り組んでいると思うが、医療、介護の側からは好ましいようだが、前もって考えたりするなど ACP を望まない人も一定数いると思われるため ・患者に高齢者が少なく、ほとんどの高齢者は内科主治医がいるようです ・紹介時点で他院でどうするか決まっている人が多い／・要望がない／・現在準備中 ・「元気なうちから手帳」を届けてもらえない、定期的に配布・補充して欲しい ・患者さん側からアプローチがあれば対応できるが、中々普通の診療時の対話では、深く内容が聴き出せない現状でもある／・訪問診療を行っている患者数は3名で、全て施設入居中のため ・患者さんや家族から相談があれば対応したいと思っているが、これまでにそのような機会がない ・他の業務を圧迫する割に1円にもならない／・話の切り出し方によっては人間関係を悪化させる ・対象となる機会が少ない／・ACP という略語でなく日本語でないと理解されない ・疾患の重症化の方とその家族の希望について話し合いカルテに記載している ・専門領域の治療でいっぱいといった状況であり、パンフレット、リーフレットを置いたとしても、尋ねられた時の対応をする余裕がないと感じている ・患者からの相談があれば応じる。こちらからアプローチはしない（独居者、認知症等の人は難しい）
短期入所生活介護	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護に対応していない ・自事業所が短期入所生活介護で看取り対応を行っておらず、また、利用者もそれぞれに担当ケアマネがあり、事業所独断では動きづらいため／・認知症のショート支援を大切にしているので ACP、ターミナル支援を含め、役割がちがうと思っている

包括	・配付はしています
地域密着型特養	・主治医の先生からは、随時必要な情報の提供をいただいています
地域密着型通所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACP を知らなかった／・ 自事業所側から話をしにくい内容のため／・ 職員不足と認識不足 ・ 介護予防を目的に行っているデイサービスで、介護度も低い人が多い ・ 午前、午後 2 単位で行っていて、時間も短い ・ 運動を目的に行っていてゆっくり話す時間がない ・ 手帳を持っている利用者に今までにあった事がない、私達も知っておくことはいいことだと思いますが、ケアマネジャーさんが主になり行動すべきだと思う ・ デイサービスというよりは、CM の役割とした方がスムーズかと思う
通所介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツール配布せずアセスメントしている／・ 個別支援計画のモニタリングの際に話をしている ・ 現時点での法人の考えとして通所系での使用はしていない、今後は使用していく可能性あり ・ 通所事業所の為、あまり関与することが少ない為／・ 日々の記録を見て頂いている ・ ACP についての自己（自施設）の理解が不足していると感じている ・ ACP の取組自体の理解がない ・ ACP については、居宅支援か家族から話ができれば支援はするつもりであるが、今のところデリケートな問題にもなるので手を出していないのが本音／・（通所であること）現状、中途半端になるのなら逆効果になると考えている ・ 地域で行っている健康教室の中で「元気なうちから手帳」を活用して講話をした事はあるが、デイサービス利用者に対して、その話をする時間がとれていないのが現状／・ 全員でなくても、少しずつ取り組んでいきたい
通所リハ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延命治療、葬儀、臓器提供などの項目は重要と思うが、通所リハ事業所の立場では話し合う事が難しいと考えます ・ 緊急時の対応に関しては確認しているが、ACP に関してはケアプランに付随しない限りはふれることはほとんどない ・ ACP について知らなかった／・ 私自身が ACP に関して情報が少なく知らなかった
認知症） グループホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所時の看取り、今後のことについて家族に希望を聞いている（本人は分からない方たちなので） ・ グループホーム（認知症の方）でどのように取り組んでいけば良いのか分からない
福祉用具	・ 延命、緩和ケアなど一歩踏み込んだ内容は利用者へ話し辛いこともある
訪問介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツール配布せずアセスメントしている／・ 準備中／・ 対象者がいない ・ 訪問介護で関わる“軽度の方”には話しにくい、重度の方には他の職種（看、Dr）がしていることが多い ・ 利用者の希望などについては、ケアマネからサービス事業所に情報提供があるため、事業所側から積極的に働きかけることはしていない
訪問看護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「元気なうちから手帳」をもとに、その方の病状・疾患に応じて ACP を話し合い（話の流れで聞き出す）希望に添うケアを行っている（まだ不十分な部分があると思いますが） ・ 訪問看護時、ケアの時間も次回の訪問までの移動もあると、ACP という大切な話をじっくりとする時間が取りにくい／・ 口頭での意思は聴けていたりするが、それを利用者や家族と共にきちんと文章におこすことができていないと感じる ・ 利用者や家族とは訪問時に生活に対して話を行う事が多く、普段から関係機関と連携を取っている／・ 利用者は精神疾患の方が多い ・ 今後どうしたいかについては確認を行い記録には残していたが、きちんとした書式を作成したりとか、手帳を利用し話したりはしていない

薬局	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を知らない／・将来について相談される機会がない／・投薬中に話せる内容ではないため ・相談を受けたら ACP について話をすることは可能だが、薬局内で改めてこちら側から話をふるのは困難である／・在宅の際なら可能かとは思うがなかなかそこまではふみこめないのが現状 ・在宅業務が少なく、機会がない／・なるべく研修会に参加し、相談を受けたときは対応できるようにしておきたいと思う ・Dr. CM などが行っており、情報はサービス担当者会議等で共有している ・施設に入所している方でも 3 ヶ月に 1 度の受診時のみ家族と来られても、施設の人でも家族の人でも関係ないからという／・別の薬局でしているかとしたらしてない、施設に全て任せているからという人が多い ・現在かかわっている患者さんに、必要と感じられる対象者がいない／・在宅でのかかわりは少数、業務は自立している人やまだ終末期でない患者が殆どで、これまで介入してこなかった
原爆特別養護ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に有る利用者の家族とは、診療所 Dr や看護師、相談員を含めて話し合いの場を作っている
<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回 ・訪問入浴介護 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望などについては、ケアマネからサービス事業所に情報提供があるため、事業所側から積極的に働きかけることはしていない
有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・準備中／・入所時や体調悪化時、確認している／・取組みを始めようとしているところである

【病院用・事業所用アンケート 回答者全員】

問 9 今後の長崎市の医療・介護専門職の ACP における知識・技術向上のために、当室によるヒアリング（電話・訪問・書面等）を行う場合にご協力いただけますか？ ※あてはまるもの 1 つに○をつけて下さい。（1 つ選択）

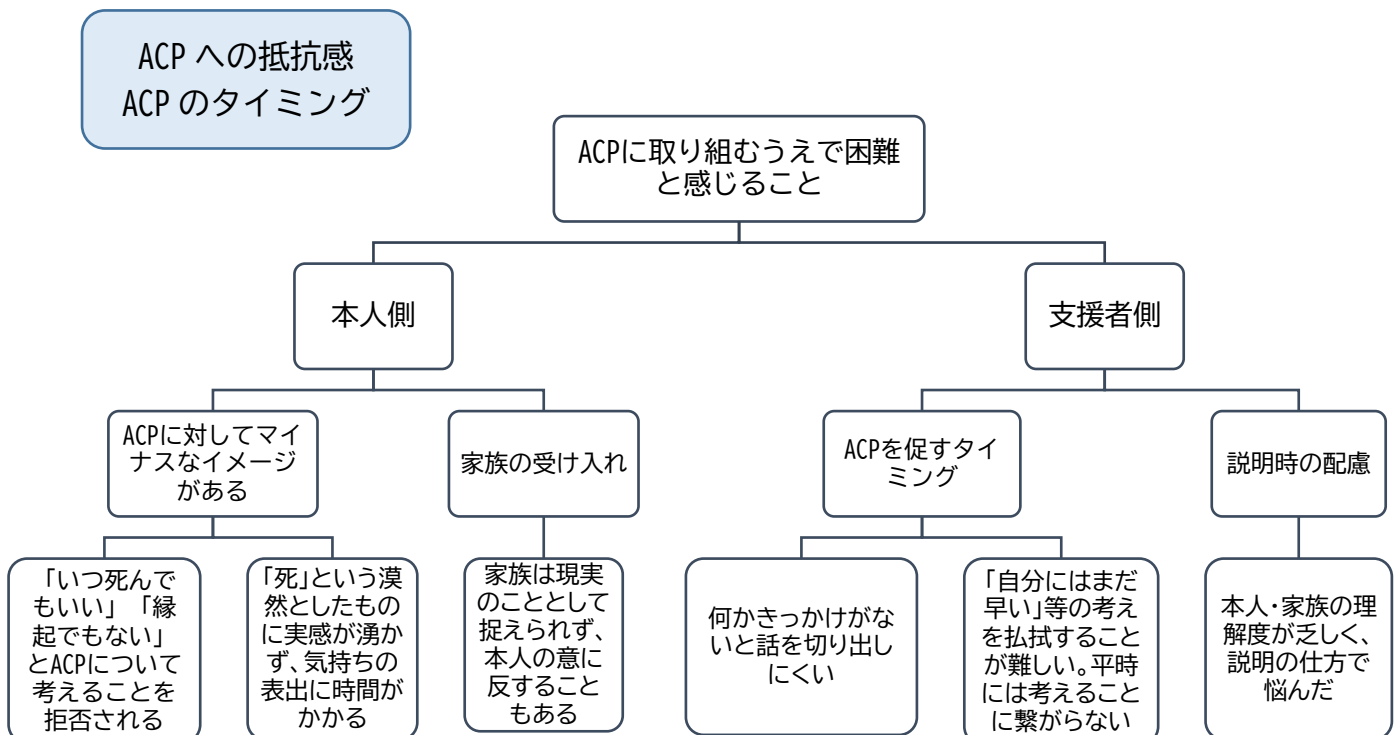
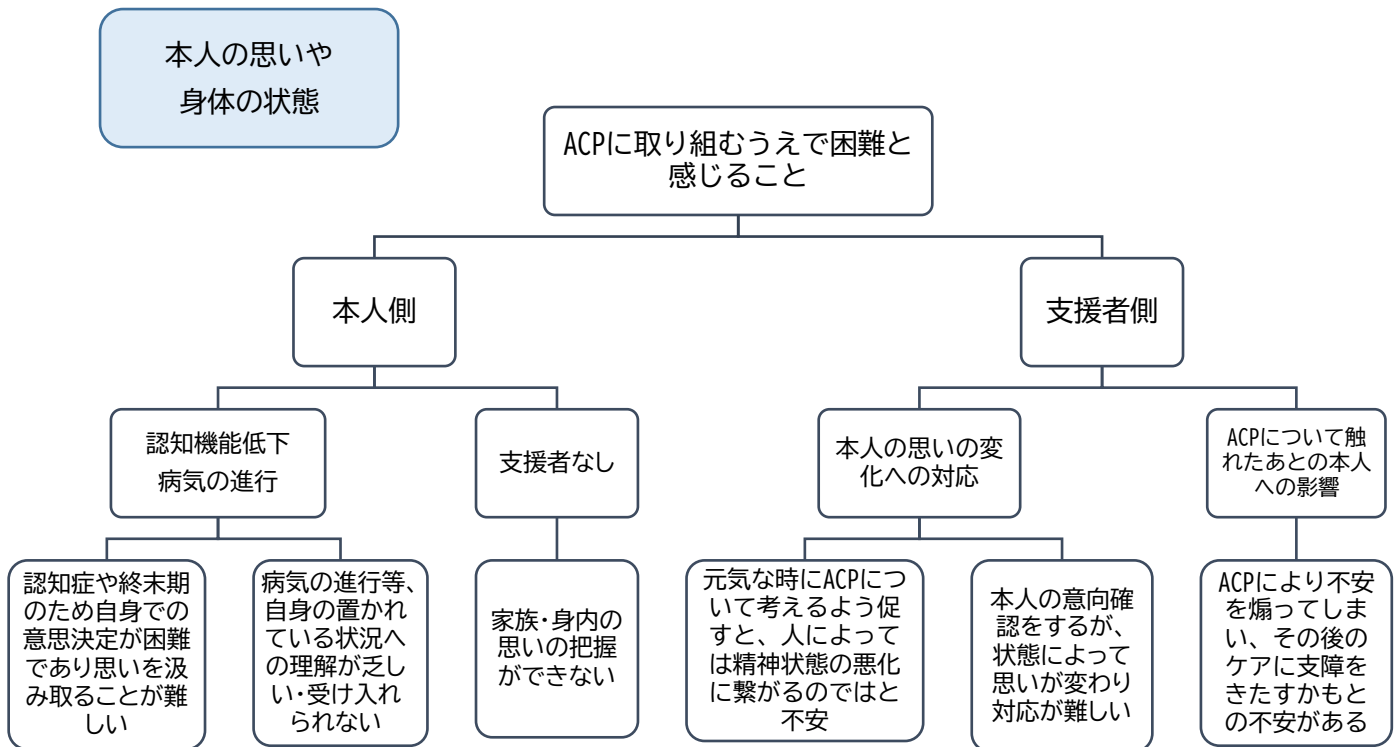


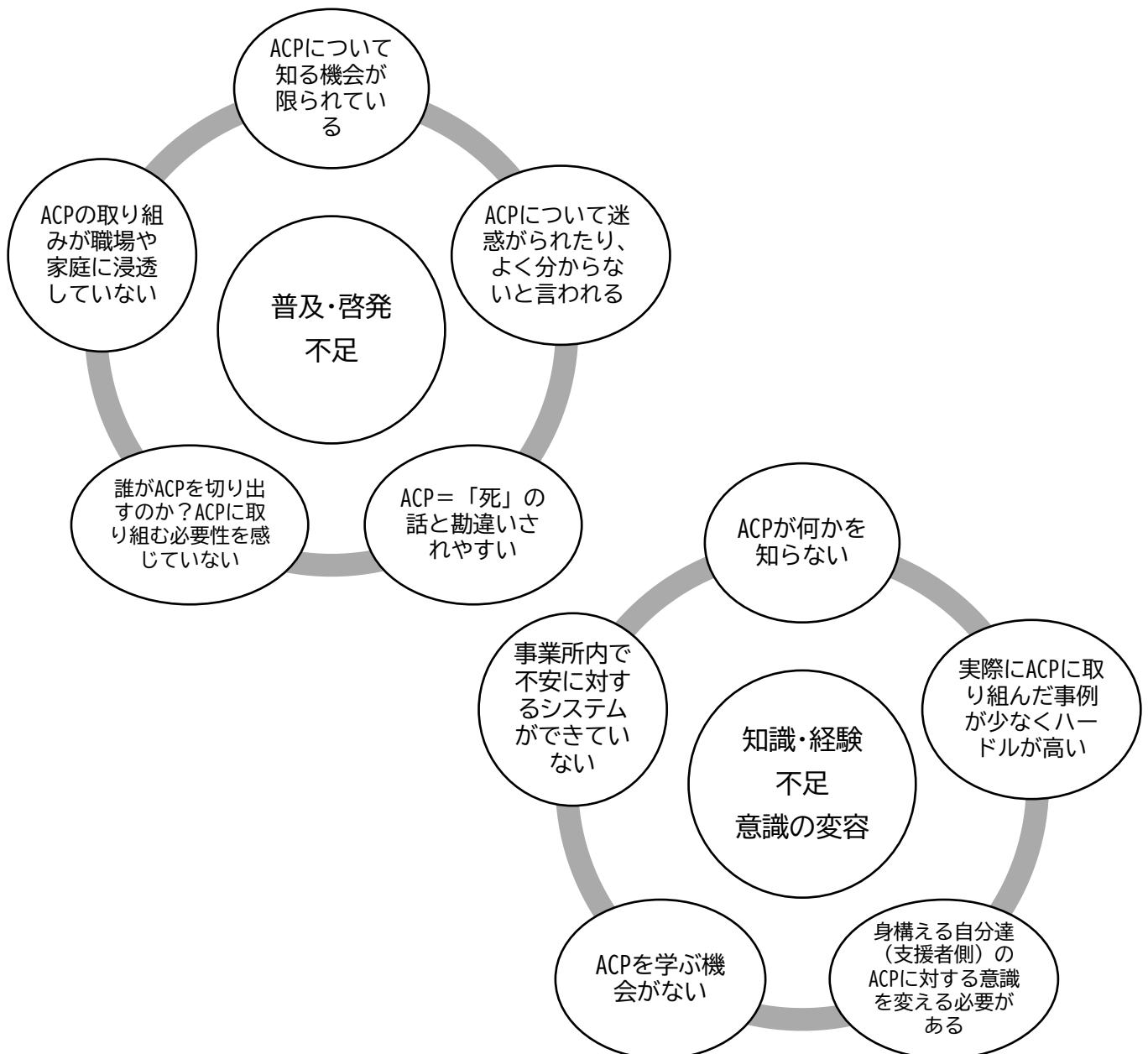
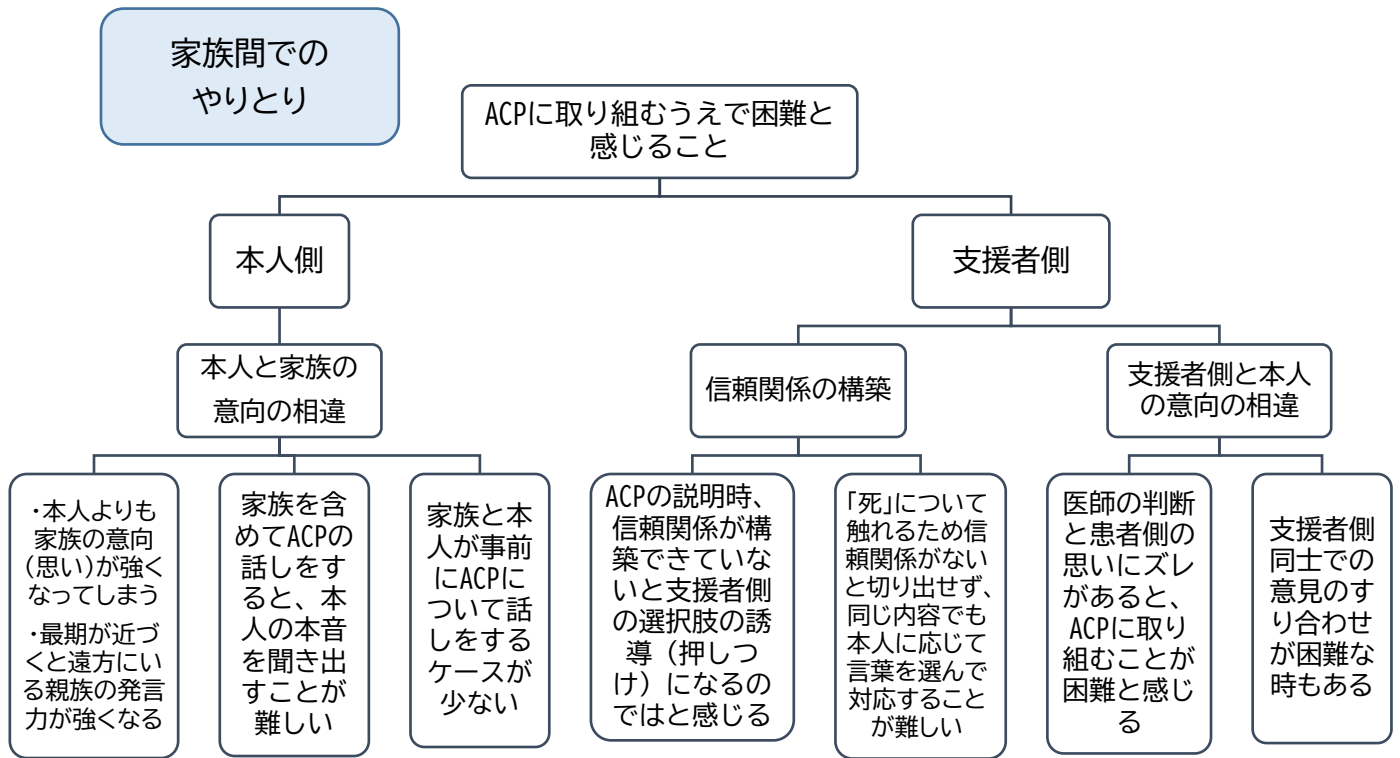
【問9】

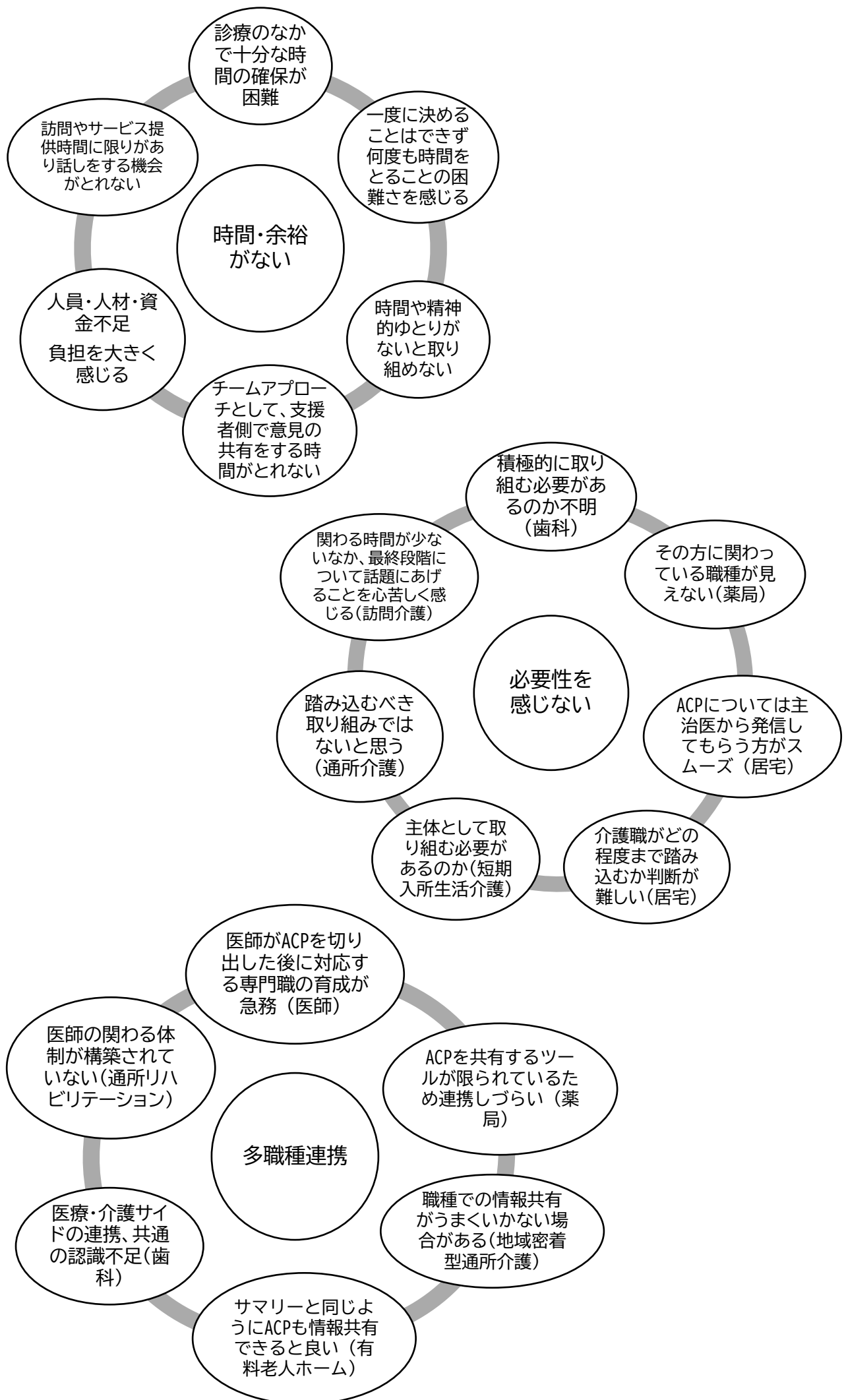
		問9 今後のヒアリングへの協力						
		回答総事業所数	はい	いいえ	わからない	9-① 9-② 9-③		
						はい	いいえ	わからない
1	病院	18	9	2	7	50%	11%	39%
2	介護医療院	1	0	0	1	0%	0%	100%
3	診療所	117	50	27	37	43%	23%	32%
4	歯科診療所	53	15	9	27	28%	17%	51%
5	薬局	79	37	5	35	47%	6%	44%
6	訪問看護	32	12	4	15	38%	13%	47%
7	訪問リハ	13	6	1	6	46%	8%	46%
8	包括	20	16	0	4	80%	0%	20%
9	居宅介護支援	93	47	5	41	51%	5%	44%
10	訪問介護	52	21	5	22	40%	10%	42%
12	定期巡回	6	2	0	2	33%	0%	33%
13	小規模多機能	20	12	0	8	60%	0%	40%
14	看護小規模多機能	2	2	0	0	100%	0%	0%
15	訪問入浴介護	2	1	0	0	50%	0%	0%
16	通所介護	49	26	4	16	53%	8%	33%
17	地域密着型通所	40	15	3	20	38%	8%	50%
18	通所リハ	29	11	2	15	38%	7%	52%
19	認知症対応型通所	6	2	1	3	33%	17%	50%
20	短期入所生活介護	38	16	2	17	42%	5%	45%
21	短期入所療養介護	6	1	3	2	17%	50%	33%
22	福祉用具	13	5	0	8	38%	0%	62%
23	特養	19	8	1	10	42%	5%	53%
24	老健	7	2	1	4	29%	14%	57%
25	介護療養型医療施設	1	0	0	1	0%	0%	100%
26	有料老人ホーム	30	20	3	7	67%	10%	23%
27	認知症)グループホーム	28	10	2	16	36%	7%	57%
28	地域密着型特養	9	3	0	6	33%	0%	67%
29	軽費老人ホーム	8	5	0	2	63%	0%	25%
31	原爆特別養護ホーム	1	0	1	0	0%	100%	0%
32	養護老人ホーム	1	1	0	0	100%	0%	0%
34	サ高住	12	6	0	6	50%	0%	50%
(病院+事業所)		805	361	81	338	45%	10%	42%
事業所のみ		787	352	79	331	45%	10%	42%

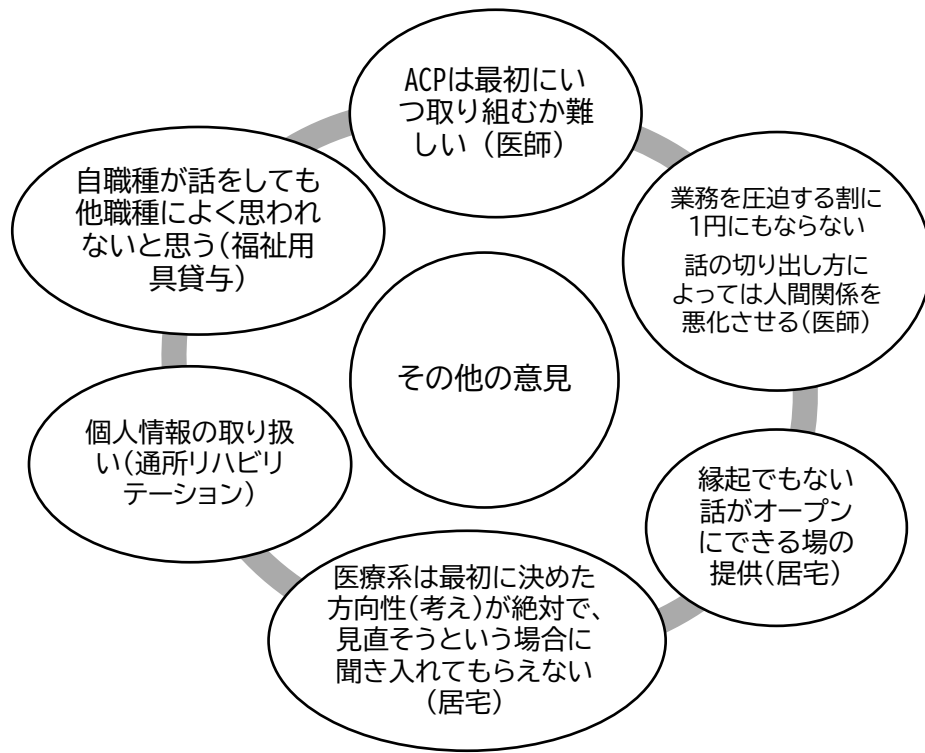
※割合(%)は、「回答総事業所数」を母数とする。

問 10 ACP に取り組むうえで困難と感ずることは何ですか。









ACPについて扱う場やタイミング

患者が入院退院するタイミングでの実施(MSWとの連携)	地域の教室にて他の人の意見も耳にしなが取り組む方が良い	介護保険申請時にチェックリストとして記載	「プロセスにおいて話し合った内容を、その都度文書にまとめておく」の書式があるのか？	元気なうちから手帳を配布してもその後の確認が不十分、DNRの話の時に確認している	アセスメントをする際に、ACPの話をするなど、ある程度決めごととして行う方が良い
-----------------------------	-----------------------------	----------------------	---	--	--

ACPの啓発

今、必要な人への啓発も重要だが、若い世代への啓蒙が大切	早い段階での話し合いが習慣化していないなか、早いうちから家族間で話し合い整理することなどを広報する働きかけが必要	65才以上の方には介護保険被保険者証交付の際、元気なうちから手帳を同封してはどうか	担当者会議などでもACPの話が議題に上がらないので、取り組む機会がない
-----------------------------	--	---	-------------------------------------

ACPにおける職種間の役割

誰が主軸となって手帳を渡していくのか指針がわからない	誰が(どの職種が)ACPを呼びかけるのか、役割振りがあるまいなことも困難のひとつ。マニュアルがあれば	本人の治療や過ごしたい場所、価値観、人生観など、どの専門職がどの役割をするのがいいのか？	担当ケアマネがしっかり手帳についての声掛けをしていくことがスムーズではないか、それを踏まえて介護サービスを提供すべき	Drの意見はとても強いいため、Drが積極的に取り組む方が良いのかもと思う
----------------------------	--	--	--	--------------------------------------

問 11 長崎市が作成している「元気なうちから手帳」について改善点やご意見があれば自由にお書き下さい。

手帳の内容

3回分記入できる欄を設ける	スペースやレイアウトが書きやすいもの(大きな文字・わかりやすい内容)	内容を濃くしても良いのでは…(生命保険、墓のこと、法定代理人のこと、銀行手続きなど)	延命を希望するかそういう意思表示は、この手帳でなくもう一つ作った方が良い	P18の第5章お役立ち情報の中の〈介護保険で受けることができるサービス〉の中に「居宅介護支援」を加えてはどうか	中身が具体的過ぎて書きにくい(本人がショックを受けそう)
---------------	------------------------------------	--	--------------------------------------	---	------------------------------

手帳の配布

介護保険証の発行と合わせて配布	高齢者または1家族に1つ年に1度交付	一定の年代に対して配布	(日常的に立ち寄る場所)自治会・スーパー・商店街を利用して広報 支所に置く・公民館で配布	かかりつけ医にて積極的に配布	全ての事業所から配布されると利用者も困る、誰がいつ伝えるのか明確にする必要がある	年に1回、各施設や事業所に配布(ACPIに取り組んでいない事業所も目にふれるように)
-----------------	--------------------	-------------	---	----------------	--	--

手帳の普及啓発

メディアを通しての周知・啓発(広報ながさきや週刊あじさい)	病院や介護施設にポスターを掲示	包括や居宅のケアマネへの普及強化	イベント会場で配布し若い人にも興味を持ってもらう	子ども世代への周知啓発が必要	手帳を活用するメリット・うまくいった事例の紹介	自治会掲示板へ掲示
-------------------------------	-----------------	------------------	--------------------------	----------------	-------------------------	-----------

手帳の活用方法

マイナンバーカードと結びつけて医療側でデータとして確認できると良いのでは	手帳のデータが欲しい	事業所での理解を深めるツールが欲しい	手帳のアプリがあれば良い	事業所に合わせて活用したいため、データの加工・流用許可が欲しい	うまく活用できた事例を知りたい・ACPの進め方など上手に利用している方の話が聞きたい
--------------------------------------	------------	--------------------	--------------	---------------------------------	--

Ⅲ 考察

本アンケート調査の実施後、多職種協働における ACP の推進に関する施策を検討するため、長崎市地域包括ケア推進協議会 医療・介護連携部会に「ACP の普及啓発にかかるワーキング」を設置し、ACP に取り組むうえでの課題の抽出と対応策について検討した。その後、ワーキングにおける検討結果を基に、長崎市地域包括ケア推進協議会 医療・介護連携部会にて、ACP の普及啓発に向けた取り組みについて協議を行った。本考察は、それらの意見を踏まえたものである。

【ACP への取り組みについて】

- ・ ACP について「取り組んでいない」と回答した 424 事業所（全体の 53%）のうち、全く取り組みをしていない（重複回答のない）事業所は 396 か所（50.3%）、病院は 5 か所（27.8%）であり、そのほかの「取り組んでいない」と回答した 23 か所の事業所については、研修会への参加や個別相談時に意向確認を行うなど何らかの取り組みを行っていることを示す他の選択肢と重複回答していた。また、病院の方が、事業所よりも ACP への取り組みを行っている割合が高かった。しかし、全体の 49.8%（401 か所）は ACP について取り組んでいないという結果であったため、医療・介護の事業所に対し、ACP の普及啓発から始めていく必要がある。
- ・ 訪問看護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、入所系施設を除く介護サービス提供事業所では、ACP について取り組んでいない割合が 6 割以上となっており、取り組んでいない理由としては、「事業所内の ACP に関する取り組み方針が決まっていない」が最も多かった。ACP についての研修等を通じて多職種協働で進めていくことの重要性について啓発が必要であると考えられる。
- ・ 入所系施設全体でみると、ACP について本人・家族と話し合いをしている割合は 4 割以上で、人生の最終段階における医療やケアについて確認することが、在宅での生活が困難な高齢者や中・重度の要介護者を支援する施設として重要であると認識し、ACP に取り組んでいるのではないかと推察された。また、入所系施設の 7 割が「入所時」を、6 割が「ケガ・疾患の診断や悪化時」を ACP について切り出すタイミングと回答しており、入所の段階で希望について把握し、その後の病状悪化時にも再度、意思確認を実施していると推察された。さらに、活用しているツールについては、「ケアプラン・介護計画」や「独自の様式」と回答した割合が高かった。入所系施設の中でも、軽費老人ホーム、養護老人ホームなど比較的自立度の高い方が入所する施設においては、「本人や家族と話し合いをしている」割合は 1 割で、「取り組みなし」と回答した事業所が 7 割であった。
- ・ 病院では、半数が本人や家族と話し合っている一方で、取り組まない理由として、「既に意思決定が困難」が最も多かった。
- ・ 診療所については、3 割が本人や家族と話し合っている一方で、6 割が「取り組みなし」と回答しており、診療科の違いや在宅診療に対応しているか否かで 2 極化していることが推察された。また、取り組みなしの理由として、「業務が忙しく時間がとれないこと」を理由に挙げている割合が高かった。
- ・ 歯科診療所については、96%が「取り組みなし」と回答しており、「研修の機会がないこと」と「ツールがないこと」を理由に挙げている割合が高く、ACP についての研修の取り組みなどが必要だと思われる。

- ・薬局については、「研修会に参加している」と回答した事業所が4割、「取り組んでいない」と回答した事業所が5割であった。取り組みをしていない事業所の半数が、「関わる日数や時間が短いこと」を理由として挙げており、話し合いなど関係性を十分に作ったうえでの取り組みは難しい状況が窺えた。
- ・地域包括支援センターは、9割がACPの取り組みとしてツールを配布しており、「本人や家族との話し合い」というよりも市民や関係者への普及啓発を行っていることが窺えた。また、地域包括支援センターの8割が研修会へ参加をしているが、今後も、普及啓発を行っていくうえで、積極的に研修会へ参加しACPについて学び伝える役割が必要だと思われる。

【活用・配布しているツール】

- ・全体として、「ケアプランや看護計画・介護計画」を使って話しをしている割合が高かったが、居宅介護支援事業所の7割は「元気なうちから手帳」が話し合うツールの一つになっていることが分かった。一方、有料老人ホーム、介護老人福祉施設では半数以上が「独自作成の様式」を活用していることから、元気なうちから手帳の普及が進んでいないことが推察された。「独自作成の様式」は病院および入所系の施設が使用している割合が高かった。また、診療所については、ツールとして「市医師会版わたしの思い」を使っている割合が4割であった。

【活用・配布する対象】

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、通所介護、サービス付き高齢者向け住宅は、「独居」の方へツールを配布している割合が6割を超えている。
- ・病院や診療所、訪問看護など医療系の事業所は、「余命宣告された方」へツールの配布をする割合が高かった。
- ・「相談があった方」へツールを活用・配布している事業所が55%と全体の半数を超えており、個別相談時などの様々な場面でACPについて対応をしているということが分かった。

【ツールを活用・配布する方法（病院）】

- ・7割の病院は、ツールを配布する際に、直接「職員が説明し手渡し」しており、ACPについて丁寧に取り組んでいることがわかった。また3割の病院は「入院時の書類に同封」していた。

【ツールを配布してよかった点】

- ・病院や訪問看護、介護老人保健施設など医療提供のある事業所では、ツールを活用・配布することで「多職種との情報共有がしやすくなった」と回答した割合が高かった。
- ・全体のなかでも、ツールを活用・配布することで「本人の希望の把握ができた」「本人の希望に沿った支援ができた」「本人が家族等と話すきっかけになった」と感じている割合が高く、ACPの取り組みとして本人の意向確認を行ううえで、ツールの活用は大きな意味があるということが分かった。

- ・ ツールの活用によって、4割の事業所が「多職種との情報共有ができた」と感じており、ACPについて多職種協働で取り組むためには、ツールの周知や活用方法の啓発が必要である。

[ツールを活用・配布するタイミング（病院）]

- ・ ツールを活用・配布するタイミングは入院時に多く、入院がACPに取り組むきっかけとなっていることが分かった。それに反して、退院時にはツールの活用がされていないことが分かった。

[ACPについて切り出すタイミング（事業所）]

- ・ ACPについて切り出すタイミングとして、全体のうちの半数以上が、「今後の備えについての相談時」や「疾患の悪化時」に多いことが分かった。「介護保険申請時」や「安心カード配布時」にACPを切り出すタイミングは少なかった。
- ・ 入所系施設については、「入所時」がACPを切り出すタイミングとなっており、必要に応じてACPについて触れていることが分かった。
- ・ 入所系施設以外の事業所は、「本人からの相談」をきっかけとしてACPについて確認している割合が高いことが分かった。

[ACPの情報の共有方法]

- ・ 病院では、ACPの情報を多職種と共有する際、「カルテに記載」「情報提供書やサマリー」等で共有することが多く、事業所でも同じように、「情報提供書」で共有することが多いことが分かった。

[本人・家族と話し合いやツールを配布していない理由]

- ・ ツールを配布していない理由として、病院では「既に意思決定が困難な方が多い」という理由が最多である一方で、事業所では、「事務所内にACPの取組方針がないため」と回答した割合が高かった。さらに、事業所では、「ACPについて研修や学ぶ機会がない」や「取り組み方がわからない」と回答した割合も高く、病院と比較して、ACPに取り組むハードルが高いことが推察された。事業所として今後、ACPにどう取り組んでいくべきか考えてもらうことが課題として挙げられる。加えて、「自事業所の役割でない」と感じる事業所を減らしていくことも今後の課題として挙げられる。
- ・ ACPに対する市民の理解について、病院では患者自身がACPについて“考えざる得ない状況”であることが推察されるが、事業所の約20%は「市民の理解がない」ためACPに触れることができないと感じており、ACP普及のためには、医療・介護関係者への周知とともに、市民の理解を促す取り組みも必要である。
- ・ 「ACPについて学ぶ機会がない」と回答した病院は14%であった一方で、事業所では23%と高く、特に通所系サービス事業所は3割以上が「学ぶ機会がない」と回答している。市民へのACP普及啓発と同時に、専門職への研修の場の提供も必要だと考える。

ACP に取り組むうえでの課題 <ACP の普及啓発にかかるワーキングより>

- ① (状態により) 本人の思いの把握が困難
- ② ACP への抵抗感 (本人・支援者側)
- ③ ACP について扱う場やタイミング
- ④ 家族間でのやりとり
- ⑤ ACP の普及啓発不足
- ⑥ 知識・経験不足 (職員・互い・利用者)
- ⑦ 時間・余裕がない
- ⑧ 必要性を感じない
- ⑨ 多職種連携の方法・多職種間の役割
- ⑩ 元気なうちから手帳の配布方法
- ⑪ 元気なうちから手帳の内容の改訂

ACP の普及啓発への対応策

<ACP の普及啓発にかかるワーキングおよび医療・介護連携部会における協議より>

●学生など若い世代も含めた幅広い市民への普及啓発

「元気なうちから」「健康なうちから」まずは『元気なうちから手帳』を手に取る機会・目にする機会を作る。
 *市民がよく行く場所(地域センターやふれあいセンター、老人憩いの家や診療所・薬局・歯科診療所など)に『元気なうちから手帳』を設置し、より多くの方へ啓発できるような取り組みに変更。
 (これまでの「丁寧に説明して配布」から変更)

●専門職の理解を深めるための普及啓発

職能団体として研修を開催するなど ACP について学ぶ機会を持ってもらう。
 研修の場で、実際に『元気なうちから手帳』に記入してみる取り組みを提案。
 団体主催での研修実施に向けて働きかけを行う。

●『元気なうちから手帳』への記入方法の支援や手帳配布後の活用状況の確認

『元気なうちから手帳』に記入したあとの ACP の進め方の事例、話し方の事例のノウハウをケアマネだけでなく、様々な職種が聞ける機会を作る。
 手帳を配布したあとに、手帳がどのように活用されているのか活用状況の確認を行う。

長崎市

ACP の取組み状況についてのアンケート調査結果報告書

発行 : 令和 6 年 1 月

編集 : 長崎市役所 福祉部 地域包括ケアシステム推進室
